

令和3年度秦野市Webアンケート調査
(第1回目)
報告書

令和3年7月

秦野市

目次

I 調査の概要	1
1 調査の目的	3
2 調査の設計及び回収結果	3
3 アンケートの調査項目	3
4 調査結果をみる上での注意事項	3
II 調査結果（第1回目）	5
1 属性	7
(1) 性別	7
(2) 年齢	7
(3) 居住地区	7
(4) 職業	8
2 定住意向について	9
(1) 秦野市への定住意向.....	9
3 住民票の写し等の交付について	10
(1) コンビニ交付サービスについての認知.....	10
4 犯罪被害者等支援について	14
(1) 犯罪被害者に対する支援の認知.....	14
(2) 犯罪被害者等への支援として必要だと思うもの.....	15
(3) 犯罪被害者等支援の充実のために市が力を入れるべき取組み.....	16
5 人権問題について	17
(1) 自分の人権が侵害されたと思った経験の有無.....	17
(2) 人権問題や差別について関心のあるもの.....	18
6 地球温暖化対策について	20
(1) ゼロカーボンシティ達成のために必要だと思うもの.....	20
7 渋沢丘陵について	21
(1) 渋沢丘陵に対するイメージ.....	21
(2) 渋沢丘陵を訪れる頻度.....	22
(3) 渋沢丘陵を訪れたことがない／現在は訪れない理由.....	23
8 商業振興施策について	24
(1) 新型コロナウイルス拡大前と比較した消費行動の変化.....	24
(2) お店での商品・サービスの支払い方法.....	28
(3) 新型コロナウイルスの感染拡大収束後にやりたいこと.....	29

9	通年議会について	31
	(1) 秦野市議会で年間4回定例会を開催していることの認知.....	31
	(2) 市議会議員に対して閉会日において特に充実してほしい活動.....	32
	(3) 通年議会の導入に当たり、今後の市議会に期待すること.....	33
10	住宅用火災警報器の設置状況について	34
	(1) 住居形態	34
	(2) 住宅用火災警報器の設置状況.....	35
	(3) 住宅用火災警報器の設置期間.....	36

I 調査の概要

1 調査の目的

この調査は秦野市の行政サービスの向上と、市民の行政に対する意識向上のための基礎資料とするために実施しています。

2 調査の設計及び回収結果

本調査の実施方法は以下のとおりです。

① 調査地域	市内全域
② 調査対象	秦野市のインターネット調査会社登録者
③ 対象者数	400人（回収ベース）
④ 母集団	秦野市のインターネット調査会社登録者約4,600人
⑤ 調査方法	インターネット調査
⑥ 調査期間	令和3年6月23日～6月29日
⑦ 調査機関	株式会社総合企画

3 アンケートの調査項目

以下について、調査項目を設定しました。

- ① 定住意向について
- ② 住民票の写し等の交付について
- ③ 犯罪被害者等支援について
- ④ 人権問題について
- ⑤ 地球温暖化対策について
- ⑥ 渋沢丘陵について
- ⑦ 商業振興施策について
- ⑧ 通年議会について
- ⑨ 住宅用火災警報器の設置状況について

4 調査結果をみる上での注意事項

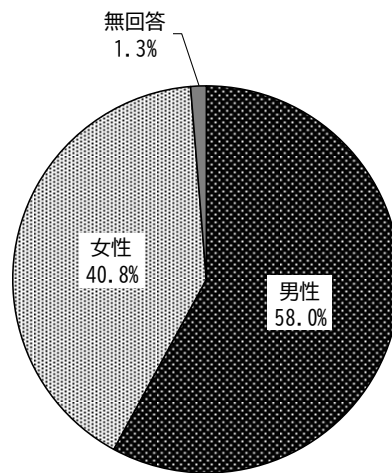
- ① 回答はn（有効回答数）を基準とした百分率で表し、小数点第2位を四捨五入しました。
このため、百分率の合計が100%にならない場合があります。
- ② 集計結果の表やグラフでは、コンピュータ入力の都合上、解答の選択肢の言葉を短縮して表現している場合があります。
- ③ 年代別等のクロス集計結果において、回答者数の少ない項目については、比率が動きやすいため分析の対象としていない場合があります。

Ⅱ 調査結果（第1回目）

1 属性

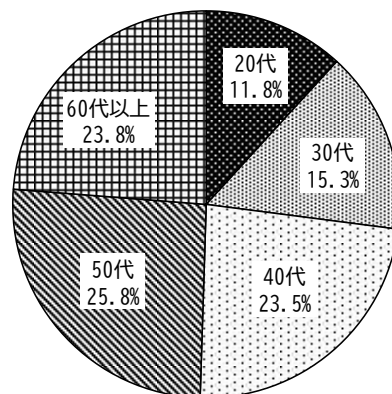
(1) 性別

(n=400)



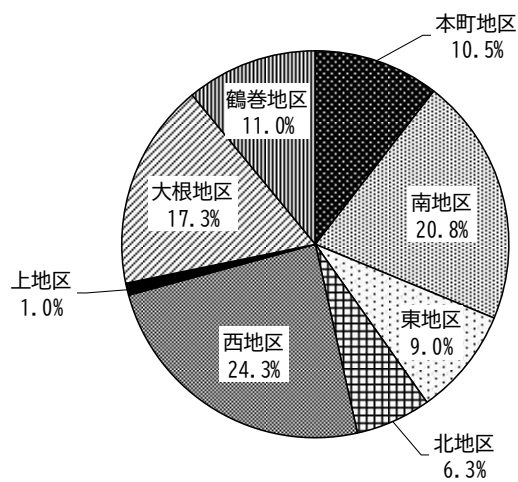
(2) 年齢

(n=400)



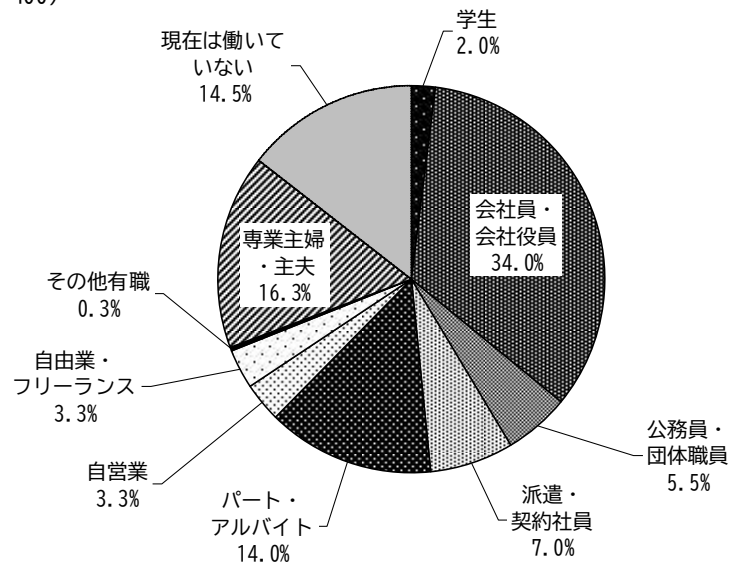
(3) 居住地区

(n=400)



(4) 職業

(n=400)



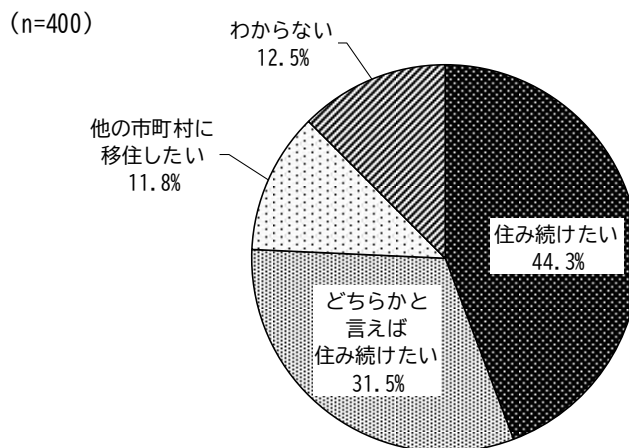
2 定住意向について

秦野市の「まち・ひと・しごと総合戦略」で掲げている、市民の定住意向に関する数値目標の達成状況を定期的に確認するため調査するものです。

(1) 秦野市への定住意向

Q1 あなたは秦野市に住み続けたいですか。 [単一回答]

「住み続けたい」(44.3%)が最も高く、「どちらかと言えば住み続けたい」(31.5%)と合わせると、約75%となっています。



性別に見ると、「住み続けたい」は男性の方が高い傾向があります。

年代別に見ると、「住み続けたい」は20代・30代は2~3割台ですが、60代以上では6割を超えています。

	(%)	全体 (実数)	住み続けたい	どちらか と言えば 住み続けたい	他の市町村に 移住したい	わからない
全体		400	44.3	31.5	11.8	12.5
性別						
男性		232	50.4	29.7	9.5	10.3
女性		163	35.6	34.4	14.7	15.3
年代						
20代		47	27.7	40.4	17.0	14.9
30代		61	32.8	34.4	19.7	13.1
40代		94	43.6	30.9	7.4	18.1
50代		103	41.7	34.0	10.7	13.6
60代以上		95	63.2	23.2	9.5	4.2
性別×年代						
男性20代		16	25.0	37.5	18.8	18.8
男性30代		24	45.8	29.2	20.8	4.2
男性40代		53	47.2	30.2	7.5	15.1
男性50代		68	47.1	32.4	7.4	13.2
男性60代以上		71	63.4	25.4	7.0	4.2
女性20代		28	25.0	42.9	17.9	14.3
女性30代		35	25.7	40.0	17.1	17.1
女性40代		41	39.0	31.7	7.3	22.0
女性50代		35	31.4	37.1	17.1	14.3
女性60代以上		24	62.5	16.7	16.7	4.2
職業						
会社員、公務員、団体職員		158	50.0	29.1	8.9	12.0
派遣、契約社員、パート・アルバイト		84	38.1	32.1	14.3	15.5
自営業・自由業、その他		27	33.3	25.9	7.4	33.3
専業主婦・主夫		65	40.0	33.8	15.4	10.8
学生、無職		66	47.0	36.4	13.6	3.0

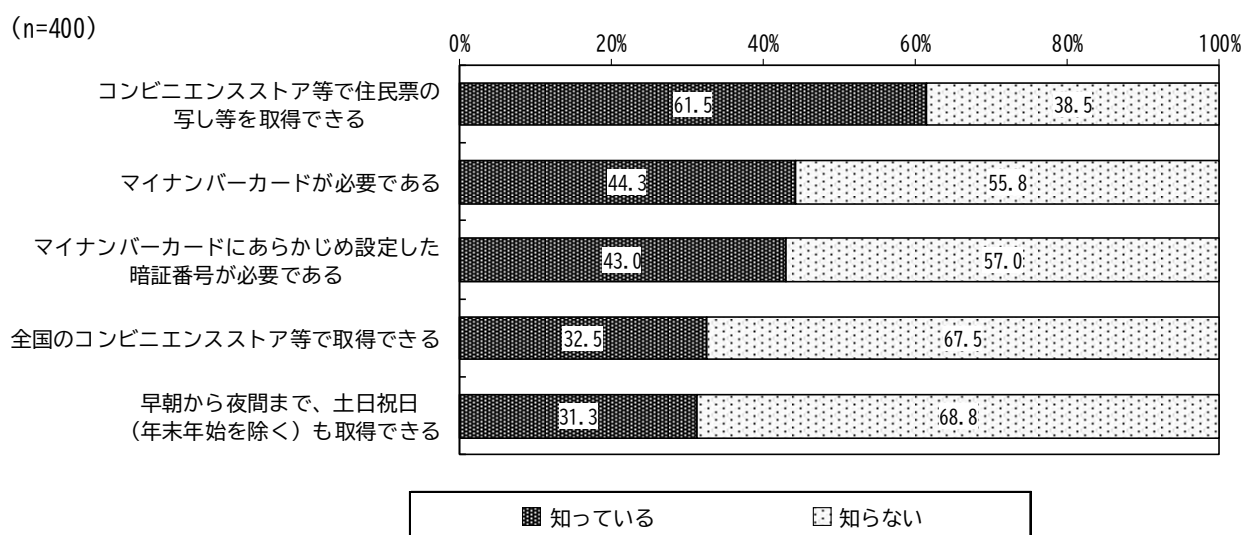
3 住民票の写し等の交付について

秦野市では、住民票の写し、印鑑登録証明書及び課税証明書について、市役所のほかに、各連絡所、コンビニエンスストア等で取得することができますが、今後、コンビニ交付サービスの取組みを推進するに当たり、認知度を調査するものです。

(1) コンビニ交付サービスについての認知

Q2 あなたは、コンビニ交付サービスについて、次の項目を知っていますか。
[単一回答]

「コンビニエンスストア等（マルチコピー機が設置された店舗）で住民票の写し等を取得できる」の認知度が61.5%と最も高く、次いで「マイナンバーカードが必要である」（44.3%）と「マイナンバーカードにあらかじめ設定した暗証番号が必要である」（43.0%）が4割台、「全国のコンビニエンスストア等で取得できる」（32.5%）と「早朝から夜間（6：30から23：00）まで、土日祝日（年末年始を除く）も取得できる」（31.3%）は3割台となっています。



①コンビニエンスストア等（マルチコピー機が設置された店舗）で住民票の写し等を取得できる

性別では、大きな傾向差は見られませんでした。

年代別に見ると、「知っている」は60代以上でやや高くなっています。

		(%)	全体 (実数)	知っている	知らない
全 体			400	61.5	38.5
性別	男性		232	61.6	38.4
	女性		163	62.0	38.0
年代	20代		47	63.8	36.2
	30代		61	59.0	41.0
	40代		94	60.6	39.4
	50代		103	58.3	41.7
	60代以上		95	66.3	33.7
	性別×年代	男性20代		16	50.0
男性30代			24	66.7	33.3
男性40代			53	56.6	43.4
男性50代			68	58.8	41.2
男性60代以上			71	69.0	31.0
女性20代			28	75.0	25.0
女性30代			35	54.3	45.7
女性40代			41	65.9	34.1
女性50代			35	57.1	42.9
女性60代以上			24	58.3	41.7
職業	会社員、公務員、団体職員		158	63.9	36.1
	派遣、契約社員、パート・アルバイト		84	52.4	47.6
	自営業・自由業、その他		27	55.6	44.4
	専業主婦・主夫		65	63.1	36.9
	学生、無職		66	68.2	31.8

②マイナンバーカードが必要である

性別では、大きな傾向差は見られませんでした。

年代別に見ると、「知っている」は20代と60代以上で5割を超え、やや高くなっています。

		(%)	全体 (実数)	知っている	知らない
全 体			400	44.3	55.8
性別	男性		232	45.7	54.3
	女性		163	42.3	57.7
年代	20代		47	53.2	46.8
	30代		61	41.0	59.0
	40代		94	36.2	63.8
	50代		103	41.7	58.3
	60代以上		95	52.6	47.4
	性別×年代	男性20代		16	37.5
男性30代			24	58.3	41.7
男性40代			53	32.1	67.9
男性50代			68	44.1	55.9
男性60代以上			71	54.9	45.1
女性20代			28	64.3	35.7
女性30代			35	28.6	71.4
女性40代			41	41.5	58.5
女性50代			35	37.1	62.9
女性60代以上			24	45.8	54.2
職業	会社員、公務員、団体職員		158	46.8	53.2
	派遣、契約社員、パート・アルバイト		84	39.3	60.7
	自営業・自由業、その他		27	48.1	51.9
	専業主婦・主夫		65	36.9	63.1
	学生、無職		66	50.0	50.0

③マイナンバーカードにあらかじめ設定した暗証番号が必要である

性別では、大きな傾向差は見られませんでした。

年代別に見ると、「知っている」は20代で5割を超え、やや高くなっています。

		全体 (実数)	知っている	知らない
		(%)		
全 体		400	43.0	57.0
性別	男性	232	45.3	54.7
	女性	163	39.9	60.1
年代	20代	47	53.2	46.8
	30代	61	34.4	65.6
	40代	94	36.2	63.8
	50代	103	43.7	56.3
	60代以上	95	49.5	50.5
	性別×年代	男性20代	16	37.5
男性30代		24	54.2	45.8
男性40代		53	35.8	64.2
男性50代		68	44.1	55.9
男性60代以上		71	52.1	47.9
女性20代		28	64.3	35.7
女性30代		35	20.0	80.0
女性40代		41	36.6	63.4
女性50代		35	42.9	57.1
女性60代以上		24	41.7	58.3
職業	会社員、公務員、団体職員	158	46.2	53.8
	派遣、契約社員、パート・アルバイト	84	34.5	65.5
	自営業・自由業、その他	27	48.1	51.9
	専業主婦・主夫	65	36.9	63.1
	学生、無職	66	50.0	50.0

④全国のコンビニエンスストア等で取得できる

性別では、大きな傾向差は見られませんでした。

年代別に見ると、「知っている」は20代で5割を超えて高く、50代・60代以上では2割台と低い傾向が見られます。

		全体 (実数)	知っている	知らない
		(%)		
全 体		400	32.5	67.5
性別	男性	232	30.6	69.4
	女性	163	35.0	65.0
年代	20代	47	51.1	48.9
	30代	61	37.7	62.3
	40代	94	31.9	68.1
	50代	103	26.2	73.8
	60代以上	95	27.4	72.6
	性別×年代	男性20代	16	37.5
男性30代		24	45.8	54.2
男性40代		53	26.4	73.6
男性50代		68	27.9	72.1
男性60代以上		71	29.6	70.4
女性20代		28	60.7	39.3
女性30代		35	31.4	68.6
女性40代		41	39.0	61.0
女性50代		35	22.9	77.1
女性60代以上		24	20.8	79.2
職業	会社員、公務員、団体職員	158	36.7	63.3
	派遣、契約社員、パート・アルバイト	84	27.4	72.6
	自営業・自由業、その他	27	22.2	77.8
	専業主婦・主夫	65	26.2	73.8
	学生、無職	66	39.4	60.6

⑤早朝から夜間（6：30 から 23：00）まで、土日祝日（年末年始を除く）も取得できる

性別では、大きな傾向差は見られませんでした。

年代別に見ると、「知っている」は20代・30代で3割台後半とやや高くなっています。

		(%)	全体 (実数)	知っている	知らない
全 体			400	31.3	68.8
性別	男性		232	33.2	66.8
	女性		163	28.2	71.8
年代	20代		47	36.2	63.8
	30代		61	37.7	62.3
	40代		94	25.5	74.5
	50代		103	29.1	70.9
	60代以上		95	32.6	67.4
性別×年代	男性20代		16	37.5	62.5
	男性30代		24	58.3	41.7
	男性40代		53	24.5	75.5
	男性50代		68	29.4	70.6
	男性60代以上		71	33.8	66.2
	女性20代		28	35.7	64.3
	女性30代		35	22.9	77.1
	女性40代		41	26.8	73.2
	女性50代		35	28.6	71.4
	女性60代以上		24	29.2	70.8
職業	会社員、公務員、団体職員		158	36.1	63.9
	派遣、契約社員、パート・アルバイト		84	25.0	75.0
	自営業・自由業、その他		27	25.9	74.1
	専業主婦・主夫		65	29.2	70.8
	学生、無職		66	31.8	68.2

4 犯罪被害者等支援について

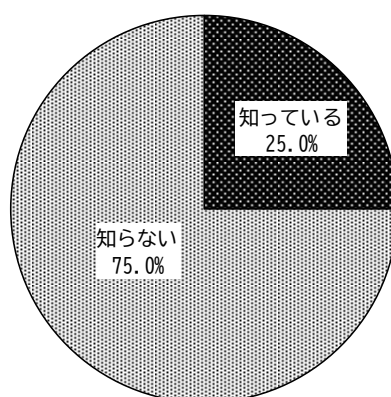
犯罪被害者やその家族が抱える問題は、精神的・経済的負担など多岐にわたることから、犯罪被害者等に対する支援の内容など、今後の施策の参考とするため調査するものです。

(1) 犯罪被害者に対する支援の認知

Q3 あなたは、犯罪被害にあわれた方に対する支援があることを知っていますか。
[単一回答]

「知っている」が25.0%、「知らない」が75.0%となっています。

(n=400)



性別では、大きな傾向差は見られませんでした。

年代別に見ると、「知っている」は20代で3割を超え、やや高い傾向が見られます。

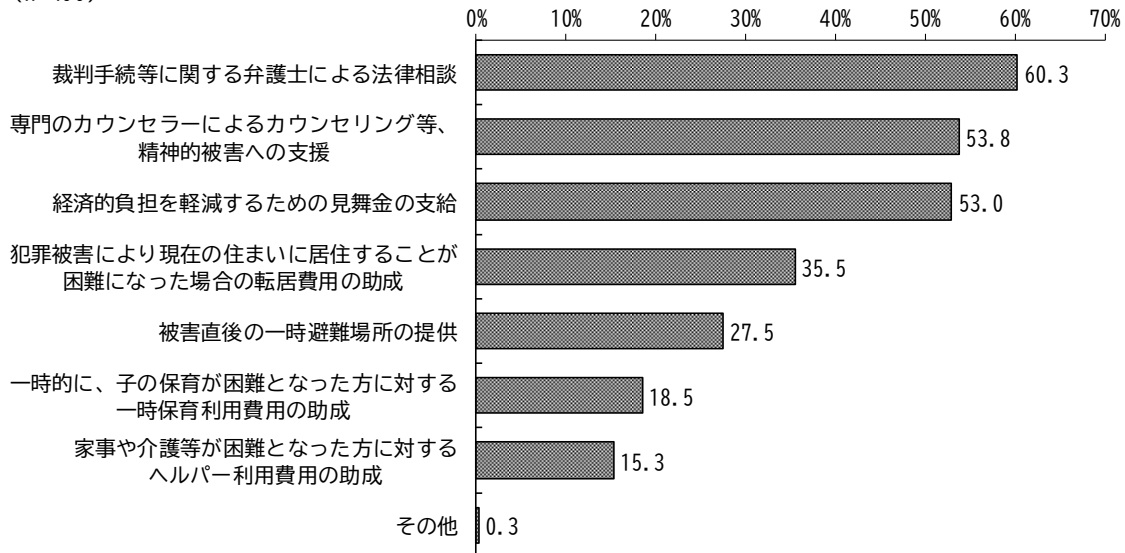
		全体 (実数)	知っている	知らない
		(%)		
全 体		400	25.0	75.0
性別	男性	232	24.6	75.4
	女性	163	25.8	74.2
年代	20代	47	31.9	68.1
	30代	61	14.8	85.2
	40代	94	25.5	74.5
	50代	103	24.3	75.7
	60代以上	95	28.4	71.6
	性別×年代	男性20代	16	31.3
男性30代		24	25.0	75.0
男性40代		53	20.8	79.2
男性50代		68	20.6	79.4
男性60代以上		71	29.6	70.4
女性20代		28	32.1	67.9
女性30代		35	8.6	91.4
女性40代		41	31.7	68.3
女性50代		35	31.4	68.6
女性60代以上		24	25.0	75.0
職業	会社員、公務員、団体職員	158	22.8	77.2
	派遣、契約社員、パート・アルバイト	84	14.3	85.7
	自営業・自由業、その他	27	40.7	59.3
	専業主婦・主夫	65	30.8	69.2
	学生、無職	66	31.8	68.2

(2) 犯罪被害者等への支援として必要だと思うもの

Q4 犯罪被害にあわれた方の支援に関して、あなたが必要だと思うものは何ですか。
[3つまで]

「裁判手続等に関する弁護士による法律相談」(60.3%)が最も高く、次いで「専門のカウンセラーによるカウンセリング等、精神的被害への支援」(53.8%)、「経済的負担を軽減するための見舞金の支給」(53.0%)と続いています。

(n=400)



性別に見ると、「専門のカウンセラーによるカウンセリング等、精神的被害への支援」と「犯罪被害により現在の住まいに居住することが困難になった場合の転居費用の助成」は女性の方が若干高く、「裁判手続等に関する弁護士による法律相談」は男性の方が若干高くなっています。

年代別に見ると、「裁判手続等に関する弁護士による法律相談」は50代・60代以上で高く、「専門のカウンセラーによるカウンセリング等、精神的被害への支援」は20代で高い傾向があります。

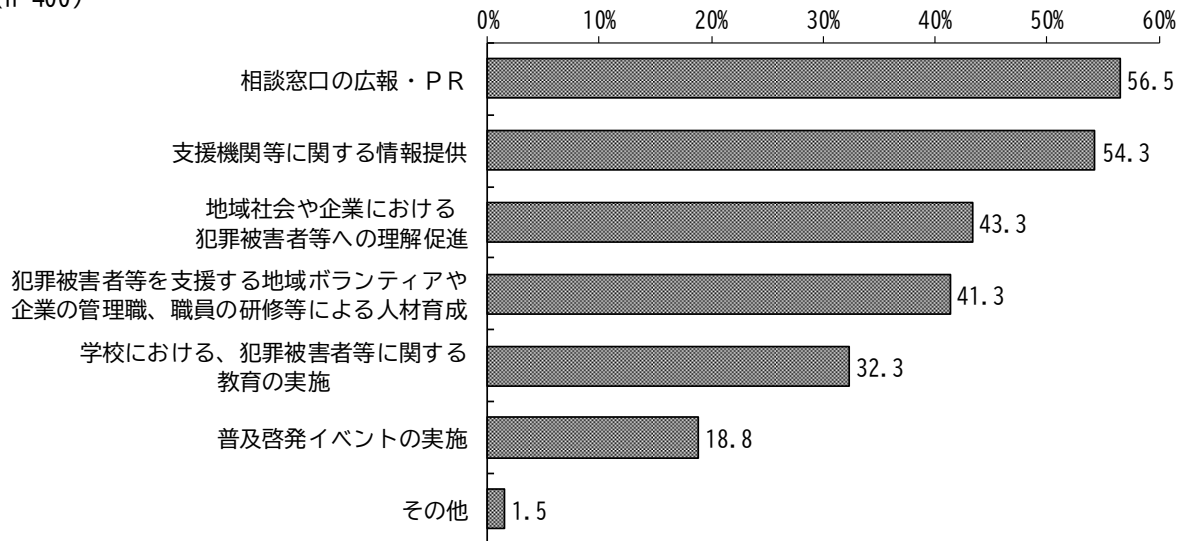
	全体 (実数)	裁判手続等 に関する弁 護士による 法律相談	専門のカウ ンセラーに よるカウ ンセリング 等、精神的 被害への支 援	経済的負担 を軽減する ための見舞 金の支給	犯罪被害に より現在の 住まいに居 住すること が困難に なった場合 の転居費用 の助成	被害直後の 一時避難場 所の提供	一時的に、 子の保育が 困難となっ た方に対す る一時保育 利用費用の 助成	家事や介護 等が困難と なった方に 対するヘル パー利用費 用の助成	その他
全体	400	60.3	53.8	53.0	35.5	27.5	18.5	15.3	0.3
性別									
男性	232	65.1	50.0	53.9	31.0	25.0	19.8	14.2	0.0
女性	163	53.4	58.9	51.5	42.9	31.9	16.6	16.6	0.6
年代									
20代	47	44.7	72.3	48.9	44.7	19.1	21.3	12.8	0.0
30代	61	55.7	55.7	57.4	34.4	21.3	21.3	13.1	0.0
40代	94	47.9	57.4	52.1	37.2	29.8	21.3	17.0	0.0
50代	103	67.0	53.4	55.3	34.0	27.2	17.5	14.6	0.0
60代以上	95	75.8	40.0	50.5	31.6	33.7	13.7	16.8	1.1
性別×年代									
男性20代	16	43.8	62.5	37.5	37.5	25.0	31.3	18.8	0.0
男性30代	24	58.3	50.0	66.7	16.7	16.7	12.5	12.5	0.0
男性40代	53	47.2	54.7	54.7	34.0	22.6	24.5	17.0	0.0
男性50代	68	70.6	52.9	58.8	32.4	20.6	19.1	10.3	0.0
男性60代以上	71	80.3	40.8	47.9	31.0	33.8	16.9	15.5	0.0
女性20代	28	42.9	75.0	53.6	53.6	17.9	17.9	10.7	0.0
女性30代	35	54.3	62.9	51.4	48.6	25.7	25.7	11.4	0.0
女性40代	41	48.8	61.0	48.8	41.5	39.0	17.1	17.1	0.0
女性50代	35	60.0	54.3	48.6	37.1	40.0	14.3	22.9	0.0
女性60代以上	24	62.5	37.5	58.3	33.3	33.3	4.2	20.8	4.2
職業									
会社員、公務員、団体職員	158	60.8	48.7	56.3	29.7	23.4	19.6	15.2	0.0
派遣、契約社員、パート・アルバイト	84	51.2	60.7	58.3	45.2	29.8	15.5	14.3	0.0
自営業・自由業、その他	27	66.7	40.7	44.4	33.3	25.9	25.9	11.1	0.0
専業主婦・主夫	65	60.0	58.5	52.3	44.6	30.8	16.9	20.0	1.5
学生、無職	66	68.2	57.6	42.4	28.8	31.8	18.2	13.6	0.0

(3) 犯罪被害者等支援の充実のために市が力を入れるべき取組み

Q5 あなたは、犯罪被害にあわれた方の支援の充実を図るうえで、市はどのような取組みに力を入れていくべきだと思いますか。〔3つまで〕

「相談窓口の広報・PR」(56.5%)が最も高く、次いで「支援機関等に関する情報提供」(54.3%)、「地域社会や企業における犯罪被害者等への理解促進」(43.3%)と続いています。

(n=400)



性別では、大きな傾向差は見られませんでした。

年代別に見ると、「犯罪被害者等を支援する地域ボランティアや企業の管理職、職員の研修等による人材育成」と「学校における、犯罪被害者等に関する教育の実施」は20代で高く、「相談窓口の広報・PR」と「普及啓発イベントの実施」では60代以上でやや高い傾向があります。

		全体 (実数)	相談窓口の 広報・PR	支援機関等 に関する情 報提供	地域社会や 企業におけ る犯罪被害 者等への理 解促進	犯罪被害者 等を支援す る地域ボラ ンティアや 企業の管理 職、職員の 研修等によ る人材育成	学校におけ る、犯罪被 害者等に関 する教育の 実施	普及啓発イ ベントの実 施	その他
		(%)							
全体		400	56.5	54.3	43.3	41.3	32.3	18.8	1.5
性別	男性	232	58.6	56.5	44.4	41.4	28.4	21.6	0.4
	女性	163	53.4	51.5	42.3	41.7	37.4	15.3	3.1
年代	20代	47	44.7	40.4	46.8	55.3	46.8	12.8	2.1
	30代	61	52.5	59.0	45.9	32.8	32.8	9.8	0.0
	40代	94	55.3	54.3	38.3	36.2	34.0	20.2	0.0
	50代	103	59.2	58.3	40.8	35.9	30.1	18.4	3.9
	60代以上	95	63.2	53.7	47.4	50.5	25.3	26.3	1.1
	性別×年代	男性20代	16	50.0	43.8	43.8	56.3	31.3	18.8
男性30代		24	50.0	58.3	45.8	25.0	29.2	12.5	0.0
男性40代		53	52.8	58.5	43.4	34.0	28.3	20.8	0.0
男性50代		68	61.8	58.8	42.6	38.2	29.4	16.2	1.5
男性60代以上		71	64.8	54.9	46.5	52.1	26.8	31.0	0.0
女性20代		28	39.3	39.3	50.0	57.1	53.6	10.7	3.6
女性30代		35	54.3	60.0	48.6	40.0	37.1	8.6	0.0
女性40代		41	58.5	48.8	31.7	39.0	41.5	19.5	0.0
女性50代		35	54.3	57.1	37.1	31.4	31.4	22.9	8.6
女性60代以上		24	58.3	50.0	50.0	45.8	20.8	12.5	4.2
職業	会社員、公務員、団体職員	158	53.8	50.6	46.2	38.6	33.5	17.7	0.0
	派遣、契約社員、パート・アルバイト	84	50.0	60.7	44.0	42.9	35.7	20.2	2.4
	自営業・自由業、その他	27	77.8	44.4	25.9	44.4	22.2	14.8	0.0
	専業主婦・主夫	65	58.5	50.8	40.0	43.1	35.4	15.4	4.6
	学生、無職	66	60.6	62.1	45.5	42.4	25.8	24.2	1.5

※「その他」の内容 37頁参照

5 人権問題について

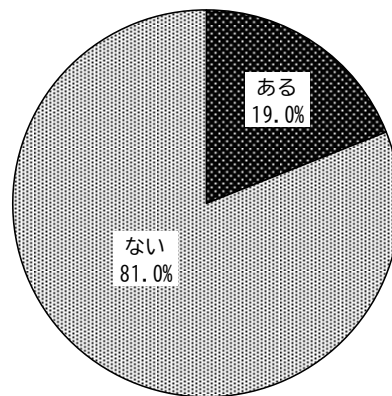
秦野市人権施策推進指針の改定の検討など、今後の人権施策の参考とするため、人権に関する市民の意識を調査するものです。

(1) 自己的人権が侵害されたと思った経験の有無

Q6 あなたは、今までに、自己的人権が侵害されたと思ったことがありますか。
[単一回答]

「ある」が19.0%、「ない」が81.0%となっています。

(n=400)



性別では、大きな傾向差は見られませんでした。

年代別に見ると、20代で「ある」が約4割と高くなっています。

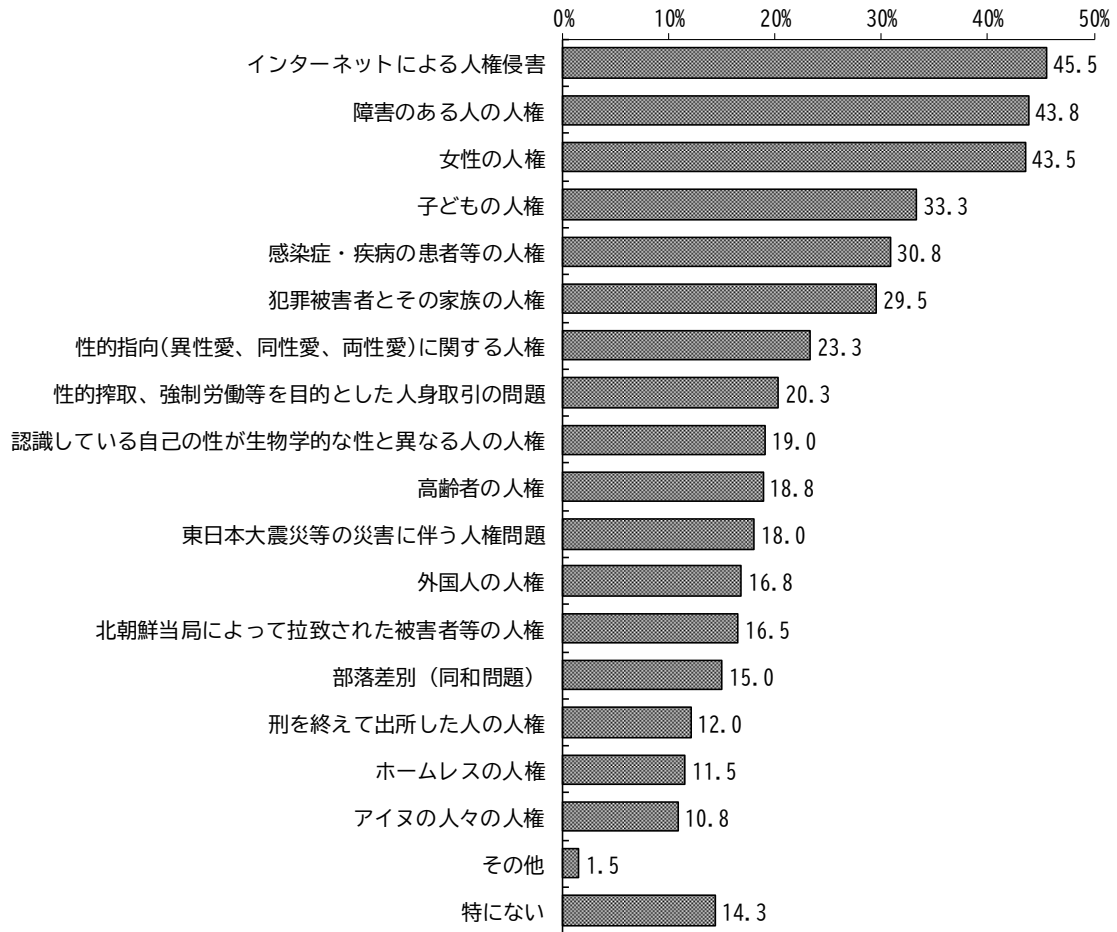
		全体 (実数)	ある	ない	
		(%)			
全 体		400	19.0	81.0	
性別	男性	232	15.5	84.5	
	女性	163	23.3	76.7	
年代	20代	47	40.4	59.6	
	30代	61	13.1	86.9	
	40代	94	22.3	77.7	
	50代	103	15.5	84.5	
	60代以上	95	12.6	87.4	
	性別×年代	男性20代	16	31.3	68.8
男性30代		24	12.5	87.5	
男性40代		53	18.9	81.1	
男性50代		68	14.7	85.3	
男性60代以上		71	11.3	88.7	
女性20代		28	42.9	57.1	
女性30代		35	14.3	85.7	
女性40代		41	26.8	73.2	
女性50代		35	17.1	82.9	
女性60代以上		24	16.7	83.3	
職業		会社員、公務員、団体職員	158	19.6	80.4
		派遣、契約社員、パート・アルバイト	84	16.7	83.3
	自営業・自由業、その他	27	22.2	77.8	
	専業主婦・主夫	65	21.5	78.5	
	学生、無職	66	16.7	83.3	

(2) 人権問題や差別について関心のあるもの

Q7 日本における様々な人権問題や差別について、あなたが関心のあるものはどれですか。
[複数回答]

「インターネットによる人権侵害」(45.5%)が最も高く、次いで「障害のある人の人権」(43.8%)、「女性の人権」(43.5%)と続いています。

(n=400)



性別に見ると、「女性の人権」、「子どもの人権」、「性的指向(異性愛、同性愛、両性愛)に関する人権」、「認識している自己の性(こころの性)が生物学的な性(からだの性)と異なる人の人権」、「東日本大震災等の災害に伴う人権問題」の5項目では女性の方が高い傾向があります。

年代別に見ると、「女性の人権」、「子どもの人権」、「性的指向(異性愛、同性愛、両性愛)に関する人権」の3項目は20代・30代で高い傾向があり、「障害のある人の人権」、「感染症・疾病の患者等の人権」は60代以上で高くなっています。

※「その他」の内容 37頁参照

		全体 (実数)	インターネットによる人権侵害	障害のある人の人権	女性の人権	子どもの人権	感染症・疾病の患者等の人権	犯罪被害者とその家族の人権	性的指向(異性愛、同性愛、両性愛)に関する人権	性的搾取、強制労働等を目的とした人身取引の問題	認識している自己の性が生物学的な性と異なる人の人権	高齢者の人権
		(%)										
全体		400	45.5	43.8	43.5	33.3	30.8	29.5	23.3	20.3	19.0	18.8
性別	男性	232	45.3	42.7	31.5	28.4	28.0	27.2	16.4	18.5	13.4	16.4
	女性	163	46.0	44.8	60.1	39.9	35.0	33.1	31.3	22.1	25.8	21.5
年代	20代	47	36.2	40.4	66.0	46.8	25.5	21.3	40.4	17.0	27.7	21.3
	30代	61	44.3	36.1	50.8	41.0	27.9	29.5	34.4	23.0	21.3	14.8
	40代	94	35.1	30.9	33.0	28.7	17.0	25.5	14.9	11.7	14.9	8.5
	50代	103	51.5	47.6	39.8	22.3	35.0	32.0	21.4	23.3	19.4	22.3
	60代以上	95	54.7	58.9	42.1	37.9	44.2	34.7	17.9	25.3	16.8	26.3
	性別×年代	男性20代	16	12.5	31.3	43.8	43.8	6.3	18.8	31.3	6.3	12.5
男性30代		24	37.5	33.3	29.2	25.0	20.8	20.8	16.7	16.7	8.3	4.2
男性40代		53	35.8	28.3	22.6	30.2	15.1	20.8	13.2	7.5	9.4	5.7
男性50代		68	51.5	42.6	29.4	20.6	27.9	29.4	14.7	19.1	13.2	22.1
男性60代以上		71	56.3	59.2	38.0	32.4	45.1	33.8	16.9	29.6	18.3	22.5
女性20代		28	46.4	39.3	78.6	46.4	35.7	21.4	39.3	21.4	32.1	17.9
女性30代		35	51.4	40.0	65.7	54.3	34.3	37.1	45.7	25.7	28.6	22.9
女性40代		41	34.1	34.1	46.3	26.8	19.5	31.7	17.1	17.1	22.0	12.2
女性50代		35	51.4	57.1	60.0	25.7	48.6	37.1	34.3	31.4	31.4	22.9
女性60代以上		24	50.0	58.3	54.2	54.2	41.7	37.5	20.8	12.5	12.5	37.5
職業	会社員、公務員、団体職員	158	46.2	34.8	37.3	32.9	27.2	26.6	20.9	17.1	16.5	15.8
	派遣、契約社員、パート・アルバイト	84	48.8	54.8	50.0	32.1	23.8	29.8	29.8	29.8	25.0	14.3
	自営業・自由業、その他	27	40.7	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	14.8	11.1	14.8	22.2
	専業主婦・主夫	65	38.5	47.7	61.5	40.0	41.5	38.5	30.8	20.0	27.7	23.1
	学生、無職	66	48.5	51.5	36.4	28.8	36.4	25.8	16.7	19.7	10.6	25.8

		全体 (実数)	東日本大震災等の災害に伴う人権問題	外国人の人権	北朝鮮当局によって拉致された被害者等の人権	部落差別(同和問題)	刑を終えて出所した人の人権	ホームレスの人権	アイヌの人々の人権	その他	特にない
		(%)									
全体		400	18.0	16.8	16.5	15.0	12.0	11.5	10.8	1.5	14.3
性別	男性	232	13.8	14.7	16.4	13.8	10.8	9.1	9.1	1.3	15.1
	女性	163	24.5	19.0	17.2	16.6	14.1	14.7	12.9	1.8	13.5
年代	20代	47	19.1	21.3	8.5	12.8	8.5	8.5	14.9	0.0	2.1
	30代	61	9.8	19.7	14.8	11.5	13.1	8.2	8.2	0.0	18.0
	40代	94	16.0	11.7	13.8	14.9	10.6	13.8	6.4	4.3	23.4
	50代	103	23.3	13.6	18.4	17.5	7.8	11.7	10.7	1.9	13.6
	60代以上	95	18.9	21.1	22.1	15.8	18.9	12.6	14.7	0.0	9.5
	性別×年代	男性20代	16	6.3	0.0	12.5	12.5	6.3	0.0	12.5	0.0
男性30代		24	4.2	16.7	16.7	4.2	8.3	4.2	4.2	0.0	25.0
男性40代		53	9.4	7.5	11.3	15.1	7.5	13.2	3.8	3.8	22.6
男性50代		68	19.1	14.7	14.7	13.2	5.9	5.9	5.9	1.5	14.7
男性60代以上		71	16.9	22.5	22.5	16.9	19.7	12.7	16.9	0.0	8.5
女性20代		28	28.6	28.6	7.1	10.7	10.7	10.7	14.3	0.0	0.0
女性30代		35	14.3	22.9	14.3	17.1	17.1	11.4	11.4	0.0	14.3
女性40代		41	24.4	17.1	17.1	14.6	14.6	14.6	9.8	4.9	24.4
女性50代		35	31.4	11.4	25.7	25.7	11.4	22.9	20.0	2.9	11.4
女性60代以上		24	25.0	16.7	20.8	12.5	16.7	12.5	8.3	0.0	12.5
職業	会社員、公務員、団体職員	158	13.3	14.6	13.9	13.9	9.5	8.2	10.8	1.9	12.7
	派遣、契約社員、パート・アルバイト	84	19.0	22.6	16.7	14.3	15.5	11.9	9.5	2.4	10.7
	自営業・自由業、その他	27	22.2	18.5	22.2	29.6	11.1	18.5	22.2	3.7	22.2
	専業主婦・主夫	65	30.8	18.5	23.1	18.5	15.4	21.5	13.8	0.0	15.4
	学生、無職	66	13.6	12.1	13.6	9.1	10.6	6.1	4.5	0.0	18.2

※「その他」の内容 37頁参照

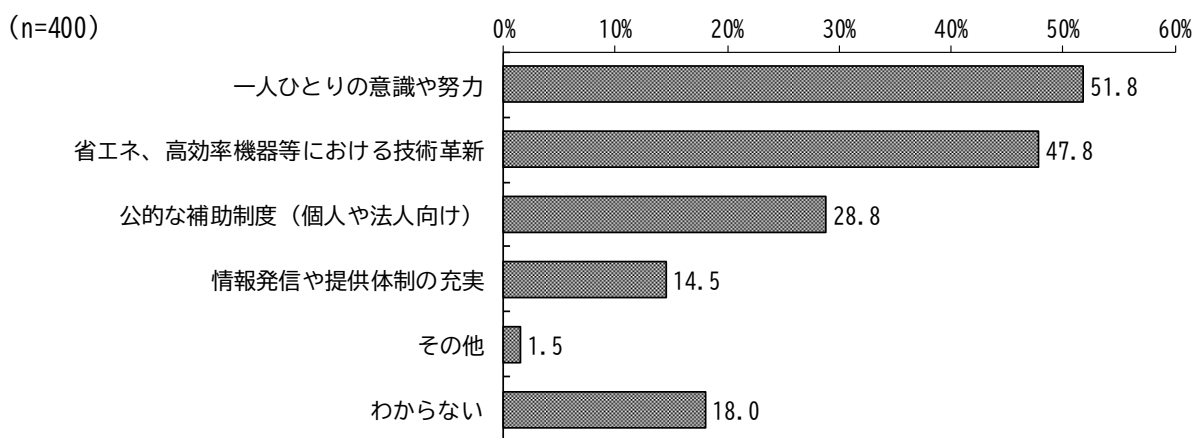
6 地球温暖化対策について

秦野市はゼロカーボンシティを表明し、「地球温暖化対策実行計画」の改訂作業を進めるに当たり、地球温暖化に対する市民の意識を調査するものです。

(1) ゼロカーボンシティ達成のために必要だと思うもの

Q8 あなたは、ゼロカーボンシティの達成には、何が必要だと考えますか。[単一回答]

「一人ひとりの意識や努力」(51.8%)が最も高く、次いで「省エネ、高効率機器等における技術革新」(47.8%)、「公的な補助制度(個人や法人向け)」(28.8%)と続いています。



性別では、大きな傾向差は見られませんでした。

年代別に見ると、「一人ひとりの意識や努力」は50代・60代以上で高く、「情報発信や提供体制の充実」は60代以上で高い傾向があります。

	全体 (実数)	一人ひとりの意識や努力	省エネ、高効率機器等における技術革新	公的な補助制度(個人や法人向け)	情報発信や提供体制の充実	その他	わからない
全体 (%)	400	51.8	47.8	28.8	14.5	1.5	18.0
性別							
男性	232	48.3	51.3	28.9	12.5	1.3	19.0
女性	163	56.4	43.6	28.2	17.2	1.8	16.6
年代							
20代	47	48.9	53.2	34.0	8.5	0.0	17.0
30代	61	37.7	44.3	29.5	14.8	0.0	26.2
40代	94	50.0	44.7	29.8	11.7	0.0	19.1
50代	103	62.1	42.7	22.3	10.7	3.9	19.4
60代以上	95	52.6	55.8	31.6	24.2	2.1	10.5
性別×年代							
男性20代	16	31.3	50.0	18.8	0.0	0.0	43.8
男性30代	24	37.5	58.3	41.7	4.2	0.0	12.5
男性40代	53	41.5	54.7	24.5	5.7	0.0	22.6
男性50代	68	54.4	39.7	26.5	10.3	1.5	25.0
男性60代以上	71	54.9	57.7	32.4	25.4	2.8	7.0
女性20代	28	57.1	57.1	39.3	10.7	0.0	3.6
女性30代	35	37.1	37.1	22.9	22.9	0.0	34.3
女性40代	41	61.0	31.7	36.6	19.5	0.0	14.6
女性50代	35	77.1	48.6	14.3	11.4	8.6	8.6
女性60代以上	24	45.8	50.0	29.2	20.8	0.0	20.8
職業							
会社員、公務員、団体職員	158	55.1	48.7	32.9	8.2	0.6	15.2
派遣、契約社員、パート・アルバイト	84	45.2	48.8	28.6	20.2	1.2	22.6
自営業・自由業、その他	27	37.0	48.1	25.9	3.7	0.0	37.0
専業主婦・主夫	65	58.5	40.0	15.4	26.2	3.1	15.4
学生、無職	66	51.5	51.5	33.3	15.2	3.0	13.6

※「その他」の内容 37頁参照

7 渋沢丘陵について

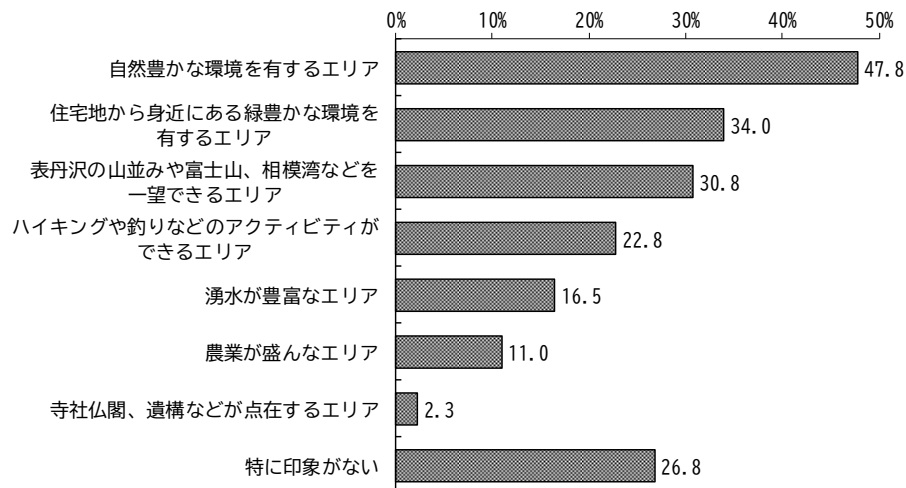
渋沢丘陵とその周辺に点在する地域資源を掘り起こし、連携させて、ハイキングなどで小田急線秦野駅と渋沢駅間の回遊性を向上させ、駅周辺のにぎわい創造にもつなげる渋沢丘陵の利活用方針の策定作業を進めるに当たり、調査を行うものです。

(1) 渋沢丘陵に対するイメージ

Q9 あなたは、渋沢丘陵に対してどのようなイメージをお持ちですか。 [3つまで]

「自然豊かな環境を有するエリア」(47.8%) が最も高く、次いで「住宅地から身近にある緑豊かな環境を有するエリア」(34.0%)、「表丹沢の山並みや富士山、相模湾などを一望できるエリア」(30.8%)と続いています。また、「特に印象がない」は26.8%となっています。

(n=400)



性別では、大きな傾向差は見られませんでした。

年代別に見ると、「自然豊かな環境を有するエリア」、「住宅地から身近にある緑豊かな環境を有するエリア」、「ハイキングや釣りなどのアクティビティができるエリア」、「表丹沢の山並みや富士山、相模湾などを一望できるエリア」の4項目は60代以上で高い傾向があります。一方で、「特に印象がない」は20代・30代でやや高くなっています。

	全体 (実数)	自然豊かな環境を有するエリア	住宅地から身近にある緑豊かな環境を有するエリア	表丹沢の山並みや富士山、相模湾などを一望できるエリア	ハイキングや釣りなどのアクティビティができるエリア	湧水が豊富なエリア	農業が盛んなエリア	寺社仏閣、遺構などが点在するエリア	特に印象がない
全体 (%)	400	47.8	34.0	30.8	22.8	16.5	11.0	2.3	26.8
性別									
男性	232	49.1	37.1	32.3	24.1	16.8	11.2	1.7	25.0
女性	163	46.6	29.4	28.8	21.5	16.0	10.4	3.1	29.4
年代									
20代	47	44.7	25.5	19.1	19.1	23.4	10.6	2.1	31.9
30代	61	44.3	23.0	21.3	23.0	4.9	16.4	3.3	34.4
40代	94	39.4	30.9	33.0	21.3	17.0	7.4	1.1	29.8
50代	103	48.5	34.0	30.1	13.6	11.7	16.5	3.9	29.1
60代以上	95	58.9	48.4	41.1	35.8	25.3	5.3	1.1	13.7
性別×年代									
男性20代	16	43.8	18.8	18.8	25.0	31.3	6.3	0.0	31.3
男性30代	24	50.0	37.5	25.0	12.5	0.0	29.2	4.2	25.0
男性40代	53	37.7	34.0	35.8	24.5	17.0	7.5	0.0	28.3
男性50代	68	45.6	30.9	25.0	14.7	11.8	16.2	2.9	33.8
男性60代以上	71	62.0	49.3	42.3	36.6	23.9	4.2	1.4	12.7
女性20代	28	46.4	28.6	17.9	17.9	17.9	10.7	3.6	35.7
女性30代	35	42.9	11.4	20.0	31.4	8.6	8.6	2.9	40.0
女性40代	41	41.5	26.8	29.3	17.1	17.1	7.3	2.4	31.7
女性50代	35	54.3	40.0	40.0	11.4	11.4	17.1	5.7	20.0
女性60代以上	24	50.0	45.8	37.5	33.3	29.2	8.3	0.0	16.7
職業									
会社員、公務員、団体職員	158	48.1	33.5	32.3	22.8	15.2	13.9	1.9	25.9
派遣、契約社員、パート・アルバイト	84	51.2	34.5	25.0	19.0	17.9	8.3	2.4	29.8
自営業・自由業、その他	27	48.1	22.2	25.9	37.0	11.1	0.0	0.0	33.3
専業主婦・主夫	65	44.6	35.4	35.4	15.4	16.9	13.8	6.2	23.1
学生、無職	66	45.5	37.9	31.8	28.8	19.7	9.1	0.0	25.8

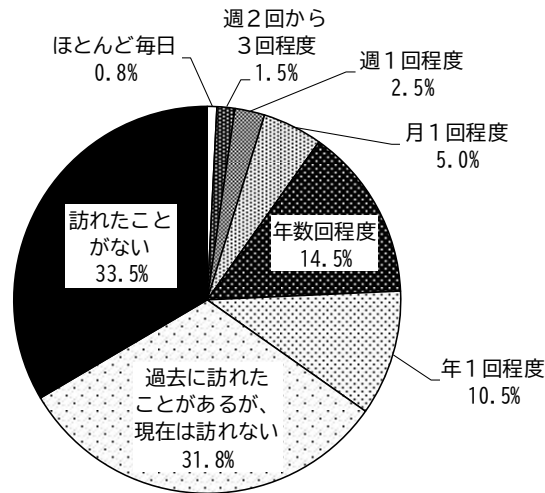
(2) 渋沢丘陵を訪れる頻度

Q10 あなたが、渋沢丘陵を訪れる頻度はどのくらいですか。[単一回答]

※通勤・通学等の単なる通過は含みません。

年1回以上訪れる人を合計すると、約35%となっています。一方で、「過去に訪れたことがあるが、現在は訪れない」は31.8%、「訪れたことがない」は33.5%でした。

(n=400)



性別に見ると、「訪れたことがない」は女性の方が高い傾向があります。

年代別に見ると、「訪れたことがない」は30代で5割を超えて高く、60代以上では1割台半ばと低くなっています。

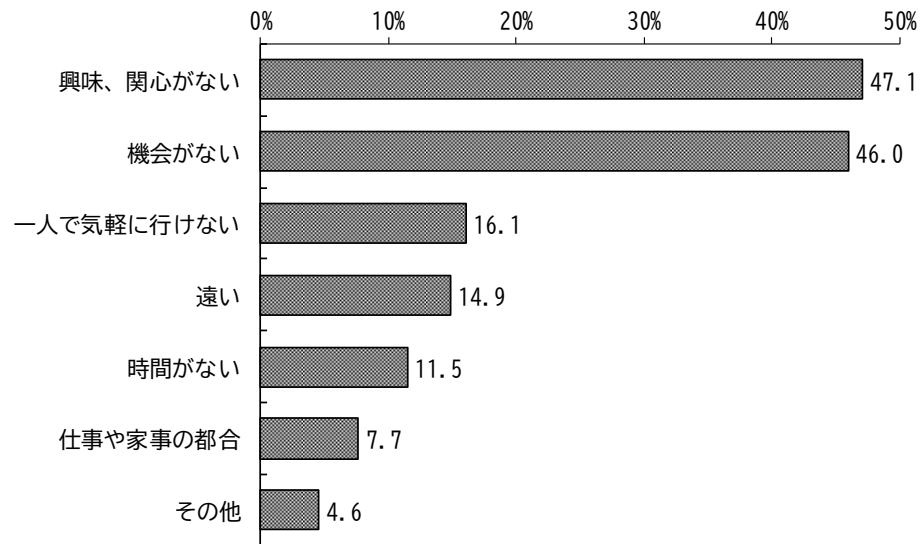
	全体 (実数)	ほとんど毎日	週2回から 3回程度	週1回程度	月1回程度	年数回程度	年1回程度	過去に訪れた ことがあるが、現在 は訪れない	訪れたこと がない
全体 (%)	400	0.8	1.5	2.5	5.0	14.5	10.5	31.8	33.5
性別									
男性	232	0.4	1.7	3.4	6.5	16.4	10.8	35.8	25.0
女性	163	1.2	1.2	1.2	3.1	12.3	9.8	26.4	44.8
年代									
20代	47	0.0	4.3	6.4	4.3	8.5	6.4	36.2	34.0
30代	61	0.0	0.0	1.6	4.9	9.8	11.5	19.7	52.5
40代	94	1.1	2.1	3.2	6.4	9.6	18.1	26.6	33.0
50代	103	0.0	0.0	1.9	1.9	16.5	8.7	31.1	39.8
60代以上	95	2.1	2.1	1.1	7.4	23.2	6.3	43.2	14.7
性別×年代									
男性20代	16	0.0	6.3	12.5	6.3	18.8	0.0	43.8	12.5
男性30代	24	0.0	0.0	4.2	8.3	8.3	20.8	25.0	33.3
男性40代	53	0.0	3.8	3.8	5.7	7.5	20.8	30.2	28.3
男性50代	68	0.0	0.0	2.9	2.9	13.2	8.8	33.8	38.2
男性60代以上	71	1.4	1.4	1.4	9.9	28.2	4.2	43.7	9.9
女性20代	28	0.0	3.6	3.6	3.6	3.6	7.1	32.1	46.4
女性30代	35	0.0	0.0	0.0	2.9	11.4	5.7	17.1	62.9
女性40代	41	2.4	0.0	2.4	7.3	12.2	14.6	22.0	39.0
女性50代	35	0.0	0.0	0.0	0.0	22.9	8.6	25.7	42.9
女性60代以上	24	4.2	4.2	0.0	0.0	8.3	12.5	41.7	29.2
職業									
会社員、公務員、団体職員	158	1.3	2.5	3.8	5.1	14.6	15.2	28.5	29.1
派遣、契約社員、パート・アルバイト	84	0.0	0.0	0.0	3.6	16.7	4.8	33.3	41.7
自営業・自由業、その他	27	0.0	0.0	3.7	14.8	11.1	7.4	25.9	37.0
専業主婦・主夫	65	1.5	1.5	1.5	3.1	12.3	12.3	29.2	38.5
学生、無職	66	0.0	1.5	3.0	4.5	15.2	6.1	42.4	27.3

(3) 渋沢丘陵を訪れたことがない／現在は訪れない理由

Q11 前の質問で、「過去に訪れたことがあるが、現在は訪れない」または「訪れたことがない」を選択した方にお聞きします。その理由は何ですか。[3つまで]

「興味、関心がない」(47.1%)が最も高く、次いで「機会がない」(46.0%)、「一人で気軽に行けない」(16.1%)と続いています。

(n=261)



性別に見ると、「一人で気軽に行けない」は女性の方が高い傾向があります。

年代別に見ると、「時間がない」は20代で高く、「一人で気軽に行けない」、「興味、関心がない」は30代で高い傾向があります。また、「機会がない」、「遠い」は60代以上で高くなっています。

		全体 (実数)	興味、関心 がない	機会がない	一人で気軽 に行けない	遠い	時間がない	仕事や家事 の都合	その他
全体 (%)		261	47.1	46.0	16.1	14.9	11.5	7.7	4.6
性別	男性	141	51.1	44.0	9.2	14.9	14.2	7.1	4.3
	女性	116	42.2	48.3	22.4	15.5	6.9	8.6	5.2
年代	20代	33	36.4	48.5	15.2	15.2	21.2	12.1	6.1
	30代	44	54.5	43.2	25.0	9.1	9.1	4.5	0.0
	40代	56	51.8	35.7	12.5	14.3	7.1	7.1	7.1
	50代	73	47.9	45.2	15.1	15.1	9.6	6.8	4.1
	60代以上	55	41.8	58.2	14.5	20.0	14.5	9.1	5.5
性別×年代	男性20代	9	33.3	44.4	11.1	11.1	22.2	22.2	0.0
	男性30代	14	57.1	35.7	14.3	14.3	14.3	14.3	0.0
	男性40代	31	61.3	38.7	9.7	6.5	12.9	6.5	3.2
	男性50代	49	53.1	34.7	4.1	18.4	12.2	4.1	6.1
	男性60代以上	38	42.1	63.2	13.2	18.4	15.8	5.3	5.3
	女性20代	22	36.4	50.0	9.1	18.2	13.6	9.1	9.1
	女性30代	28	53.6	46.4	28.6	7.1	7.1	0.0	0.0
	女性40代	25	40.0	32.0	16.0	24.0	0.0	8.0	12.0
	女性50代	24	37.5	66.7	37.5	8.3	4.2	12.5	0.0
	女性60代以上	17	41.2	47.1	17.6	23.5	11.8	17.6	5.9
職業	会社員、公務員、団体職員	91	48.4	45.1	7.7	13.2	15.4	7.7	5.5
	派遣、契約社員、パート・アルバイト	63	47.6	49.2	17.5	19.0	6.3	9.5	3.2
	自営業・自由業、その他	17	35.3	41.2	17.6	0.0	11.8	5.9	11.8
	専業主婦・主夫	44	50.0	40.9	34.1	9.1	4.5	9.1	2.3
	学生、無職	46	45.7	50.0	13.0	23.9	17.4	4.3	4.3

※「その他」の内容 37頁参照

8 商業振興施策について

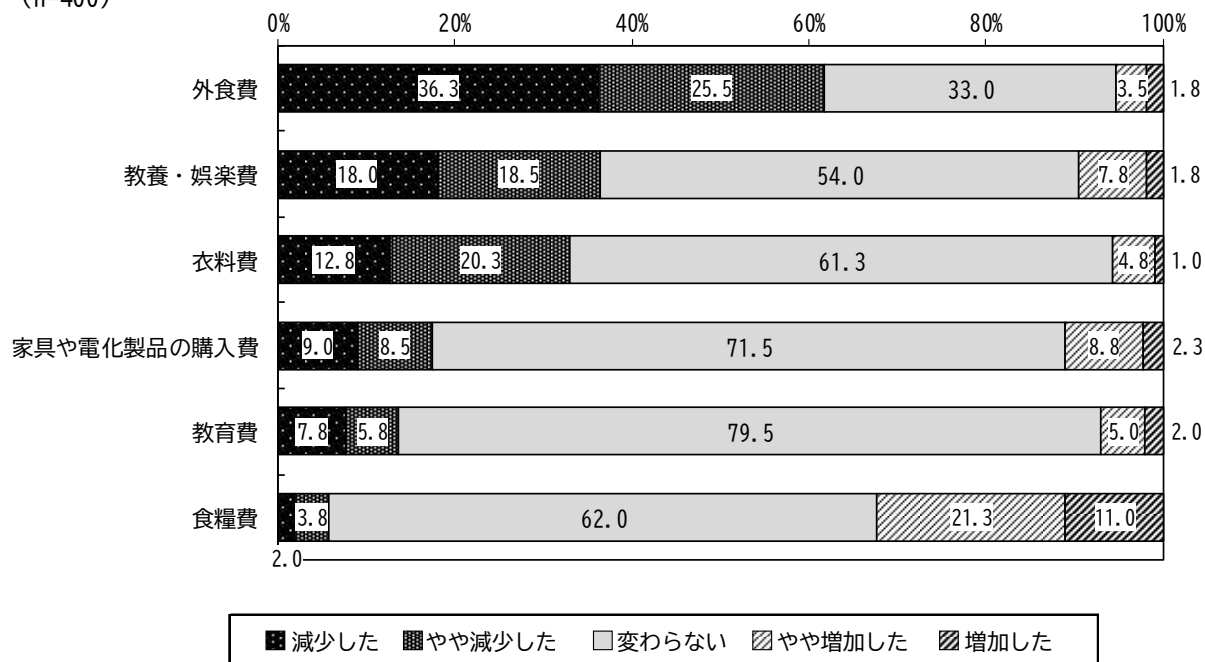
より効果的な商業振興施策につなげることを目的に、新型コロナウイルスの影響による消費者の購買（買物行動）の変化や商店街に対する意識やニーズ等を調査するものです。

（1）新型コロナウイルス拡大前と比較した消費行動の変化

Q12 あなたの最近のお買物について、新型コロナウイルスが拡大する前と比較した場合、次の項目の消費金額に変化はありましたか。[単一回答]

消費金額が【減少した（「減少した」と「やや減少した」の合計）】と回答した人の割合が最も高かったのは「外食費」（61.8%）でした。その他の項目では「変わらない」が5割台～約8割で最も高くなっていますが、「食糧費」では【増加した（「やや増加した」と「増加した」の合計）】と回答した人の割合が他の項目と比較して高くなっています。

(n=400)



①外食費

性別では、大きな傾向差は見られませんでした。

年代別に見ると、「変わらない」は40代・50代でやや高く、【減少した（「減少した」と「やや減少した」の合計）】と回答した人の割合は60代以上で高い傾向があります。

		(%)	全体 (実数)	減少した	やや減少した	変わらない	やや増加した	増加した	
全 体			400	36.3	25.5	33.0	3.5	1.8	
性別	男性		232	33.6	23.7	37.1	3.4	2.2	
	女性		163	39.3	28.2	28.2	3.7	0.6	
年代	20代		47	34.0	29.8	25.5	6.4	4.3	
	30代		61	31.1	29.5	31.1	3.3	4.9	
	40代		94	33.0	25.5	36.2	5.3	0.0	
	50代		103	40.8	17.5	38.8	1.9	1.0	
	60代以上		95	38.9	29.5	28.4	2.1	1.1	
	性別×年代	男性20代		16	25.0	6.3	43.8	12.5	12.5
男性30代			24	33.3	25.0	29.2	4.2	8.3	
男性40代			53	28.3	28.3	39.6	3.8	0.0	
男性50代			68	39.7	11.8	47.1	1.5	0.0	
男性60代以上			71	33.8	35.2	26.8	2.8	1.4	
女性20代			28	35.7	42.9	17.9	3.6	0.0	
女性30代			35	28.6	34.3	34.3	2.9	0.0	
女性40代			41	39.0	22.0	31.7	7.3	0.0	
女性50代			35	42.9	28.6	22.9	2.9	2.9	
女性60代以上			24	54.2	12.5	33.3	0.0	0.0	
職業		会社員、公務員、団体職員		158	36.1	19.6	39.2	3.8	1.3
		派遣、契約社員、パート・アルバイト		84	32.1	33.3	27.4	4.8	2.4
	自営業・自由業、その他		27	25.9	33.3	33.3	0.0	7.4	
	専業主婦・主夫		65	43.1	27.7	26.2	3.1	0.0	
	学生、無職		66	39.4	24.2	31.8	3.0	1.5	

②教養・娯楽費

性別に見ると、「変わらない」は男性の方が高い傾向があります。

年代別に見ると、【減少した（「減少した」と「やや減少した」の合計）】と回答した人の割合は30代と60代以上でやや高く、【増加した（「やや増加した」と「増加した」の合計）】と回答した人の割合は20代で高い傾向があります。

		(%)	全体 (実数)	減少した	やや減少した	変わらない	やや増加した	増加した	
全 体			400	18.0	18.5	54.0	7.8	1.8	
性別	男性		232	14.7	16.8	59.9	6.9	1.7	
	女性		163	22.7	20.9	46.0	9.2	1.2	
年代	20代		47	17.0	8.5	48.9	17.0	8.5	
	30代		61	19.7	23.0	44.3	8.2	4.9	
	40代		94	13.8	20.2	57.4	8.5	0.0	
	50代		103	20.4	14.6	61.2	3.9	0.0	
	60代以上		95	18.9	23.2	51.6	6.3	0.0	
	性別×年代	男性20代		16	12.5	0.0	62.5	12.5	12.5
男性30代			24	16.7	20.8	45.8	8.3	8.3	
男性40代			53	7.5	18.9	66.0	7.5	0.0	
男性50代			68	19.1	13.2	63.2	4.4	0.0	
男性60代以上			71	15.5	21.1	56.3	7.0	0.0	
女性20代			28	17.9	14.3	39.3	21.4	7.1	
女性30代			35	22.9	22.9	45.7	8.6	0.0	
女性40代			41	22.0	22.0	46.3	9.8	0.0	
女性50代			35	22.9	17.1	57.1	2.9	0.0	
女性60代以上			24	29.2	29.2	37.5	4.2	0.0	
職業		会社員、公務員、団体職員		158	14.6	18.4	59.5	7.0	0.6
		派遣、契約社員、パート・アルバイト		84	15.5	22.6	51.2	8.3	2.4
	自営業・自由業、その他		27	25.9	0.0	51.9	14.8	7.4	
	専業主婦・主夫		65	21.5	26.2	46.2	4.6	1.5	
	学生、無職		66	22.7	13.6	53.0	9.1	1.5	

③衣料費

性別に見ると、「変わらない」は男性の方が高く、【減少した（「減少した」と「やや減少した」の合計）】と回答した人の割合は女性の方が高い傾向があります。

年代別に見ると、「変わらない」は50代・60代以上で高く、【減少した（「減少した」と「やや減少した」の合計）】と回答した人の割合は20・30代でやや高くなっています。

		(%)	全体 (実数)	減少した	やや減少した	変わらない	やや増加した	増加した	
全 体			400	12.8	20.3	61.3	4.8	1.0	
性別	男性		232	8.2	17.7	69.0	4.7	0.4	
	女性		163	19.0	24.5	50.3	4.9	1.2	
年代	20代		47	17.0	23.4	42.6	12.8	4.3	
	30代		61	18.0	23.0	52.5	3.3	3.3	
	40代		94	11.7	22.3	59.6	6.4	0.0	
	50代		103	12.6	16.5	69.9	1.0	0.0	
	60代以上		95	8.4	18.9	68.4	4.2	0.0	
	性別×年代	男性20代		16	18.8	6.3	56.3	18.8	0.0
男性30代			24	4.2	29.2	58.3	4.2	4.2	
男性40代			53	1.9	18.9	73.6	5.7	0.0	
男性50代			68	14.7	11.8	73.5	0.0	0.0	
男性60代以上			71	5.6	21.1	67.6	5.6	0.0	
女性20代			28	17.9	35.7	28.6	10.7	7.1	
女性30代			35	25.7	20.0	51.4	2.9	0.0	
女性40代			41	24.4	26.8	41.5	7.3	0.0	
女性50代			35	8.6	25.7	62.9	2.9	0.0	
女性60代以上			24	16.7	12.5	70.8	0.0	0.0	
職業		会社員、公務員、団体職員		158	8.2	19.6	66.5	4.4	1.3
		派遣、契約社員、パート・アルバイト		84	15.5	33.3	44.0	7.1	0.0
	自営業・自由業、その他		27	14.8	7.4	70.4	3.7	3.7	
	専業主婦・主夫		65	18.5	16.9	61.5	3.1	0.0	
	学生、無職		66	13.6	13.6	66.7	4.5	1.5	

④家具や電化製品の購入費

性別では、大きな傾向差は見られませんでした。

年代別に見ると、「変わらない」は40代でやや高く、【増加した（「やや増加した」と「増加した」の合計）】と回答した人の割合は20代・30代で高くなっています。

		(%)	全体 (実数)	減少した	やや減少した	変わらない	やや増加した	増加した	
全 体			400	9.0	8.5	71.5	8.8	2.3	
性別	男性		232	7.8	8.2	74.6	7.8	1.7	
	女性		163	10.4	9.2	67.5	10.4	2.5	
年代	20代		47	6.4	10.6	66.0	8.5	8.5	
	30代		61	11.5	4.9	65.6	9.8	8.2	
	40代		94	6.4	10.6	77.7	5.3	0.0	
	50代		103	11.7	4.9	73.8	9.7	0.0	
	60代以上		95	8.4	11.6	69.5	10.5	0.0	
	性別×年代	男性20代		16	12.5	6.3	75.0	6.3	0.0
男性30代			24	4.2	4.2	66.7	8.3	16.7	
男性40代			53	1.9	7.5	84.9	5.7	0.0	
男性50代			68	13.2	4.4	75.0	7.4	0.0	
男性60代以上			71	7.0	14.1	69.0	9.9	0.0	
女性20代			28	3.6	14.3	57.1	10.7	14.3	
女性30代			35	14.3	5.7	68.6	11.4	0.0	
女性40代			41	12.2	14.6	68.3	4.9	0.0	
女性50代			35	8.6	5.7	71.4	14.3	0.0	
女性60代以上			24	12.5	4.2	70.8	12.5	0.0	
職業		会社員、公務員、団体職員		158	5.1	4.4	77.2	9.5	3.8
		派遣、契約社員、パート・アルバイト		84	13.1	20.2	59.5	6.0	1.2
	自営業・自由業、その他		27	7.4	7.4	74.1	7.4	3.7	
	専業主婦・主夫		65	9.2	3.1	75.4	12.3	0.0	
	学生、無職		66	13.6	9.1	68.2	7.6	1.5	

⑤教育費

性別では、大きな傾向差は見られませんでした。

年代別に見ると、【減少した（「減少した」と「やや減少した」の合計）】と回答した人の割合は20代でやや高い傾向が見られました。

		(%)	全体 (実数)	減少した	やや減少した	変わらない	やや増加した	増加した	
全 体			400	7.8	5.8	79.5	5.0	2.0	
性別	男性		232	7.3	5.6	81.0	5.2	0.9	
	女性		163	8.6	6.1	77.3	4.9	3.1	
年代	20代		47	10.6	12.8	61.7	10.6	4.3	
	30代		61	6.6	11.5	72.1	4.9	4.9	
	40代		94	6.4	6.4	80.9	4.3	2.1	
	50代		103	8.7	1.0	86.4	2.9	1.0	
	60代以上		95	7.4	3.2	84.2	5.3	0.0	
	性別×年代	男性20代		16	18.8	12.5	56.3	12.5	0.0
男性30代			24	4.2	12.5	66.7	12.5	4.2	
男性40代			53	5.7	9.4	83.0	1.9	0.0	
男性50代			68	8.8	0.0	86.8	2.9	1.5	
男性60代以上			71	5.6	4.2	84.5	5.6	0.0	
女性20代			28	7.1	14.3	60.7	10.7	7.1	
女性30代			35	8.6	11.4	77.1	0.0	2.9	
女性40代			41	7.3	2.4	78.0	7.3	4.9	
女性50代			35	8.6	2.9	85.7	2.9	0.0	
女性60代以上			24	12.5	0.0	83.3	4.2	0.0	
職業		会社員、公務員、団体職員		158	7.0	5.1	79.1	6.3	2.5
		派遣、契約社員、パート・アルバイト		84	11.9	8.3	72.6	4.8	2.4
	自営業・自由業、その他		27	7.4	7.4	81.5	0.0	3.7	
	専業主婦・主夫		65	6.2	4.6	84.6	4.6	0.0	
	学生、無職		66	6.1	4.5	83.3	4.5	1.5	

⑥食糧費

性別に見ると、【増加した（「やや増加した」と「増加した」の合計）】と回答した人の割合は女性の方が高い傾向があります。

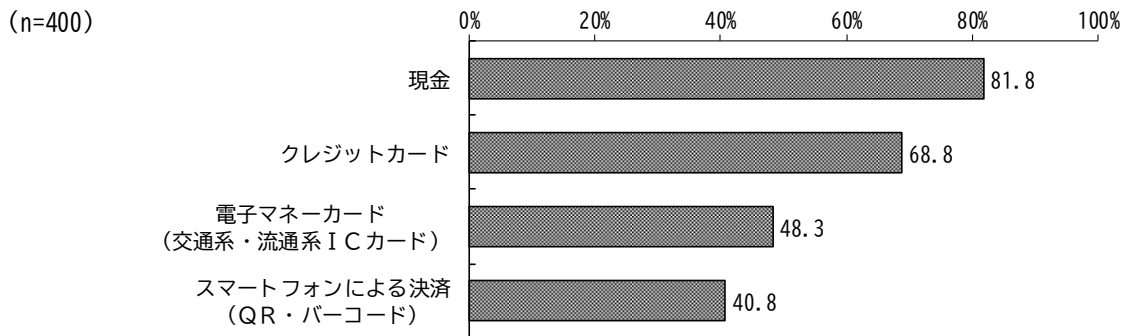
年代別に見ると、【増加した（「やや増加した」と「増加した」の合計）】と回答した人の割合は20代で高く、「変わらない」は60代以上でやや高くなっています。

		(%)	全体 (実数)	減少した	やや減少した	変わらない	やや増加した	増加した	
全 体			400	2.0	3.8	62.0	21.3	11.0	
性別	男性		232	2.6	3.9	68.5	16.8	8.2	
	女性		163	1.2	3.1	53.4	27.6	14.7	
年代	20代		47	2.1	2.1	46.8	29.8	19.1	
	30代		61	0.0	6.6	55.7	21.3	16.4	
	40代		94	0.0	5.3	66.0	17.0	11.7	
	50代		103	4.9	1.9	62.1	22.3	8.7	
	60代以上		95	2.1	3.2	69.5	20.0	5.3	
	性別×年代	男性20代		16	6.3	0.0	56.3	12.5	25.0
男性30代			24	0.0	12.5	45.8	25.0	16.7	
男性40代			53	0.0	5.7	77.4	7.5	9.4	
男性50代			68	5.9	1.5	72.1	17.6	2.9	
男性60代以上			71	1.4	2.8	69.0	21.1	5.6	
女性20代			28	0.0	3.6	39.3	39.3	17.9	
女性30代			35	0.0	0.0	65.7	20.0	14.3	
女性40代			41	0.0	4.9	51.2	29.3	14.6	
女性50代			35	2.9	2.9	42.9	31.4	20.0	
女性60代以上			24	4.2	4.2	70.8	16.7	4.2	
職業		会社員、公務員、団体職員		158	2.5	2.5	65.8	17.7	11.4
		派遣、契約社員、パート・アルバイト		84	3.6	4.8	53.6	27.4	10.7
	自営業・自由業、その他		27	0.0	11.1	74.1	3.7	11.1	
	専業主婦・主夫		65	0.0	1.5	60.0	23.1	15.4	
	学生、無職		66	1.5	4.5	60.6	27.3	6.1	

(2) お店での商品・サービスの支払い方法

Q13 あなたの、お店での商品・サービスのお支払い方法は何か。〔複数回答〕

「現金」(81.8%) が最も高く、次いで「クレジットカード」(68.8%)、「電子マネーカード(交通系・流通系 IC カード)」(48.3%)、「スマートフォンによる決済(QR・バーコード)」(40.8%)と続いています。



性別では、大きな傾向差は見られませんでした。

年代別に見ると、「現金」、「クレジットカード」、「電子マネーカード(交通系・流通系 IC カード)」の3項目は60代以上で高く、「クレジットカード」、「電子マネーカード(交通系・流通系 IC カード)」は20代・30代で低い傾向が見られました。

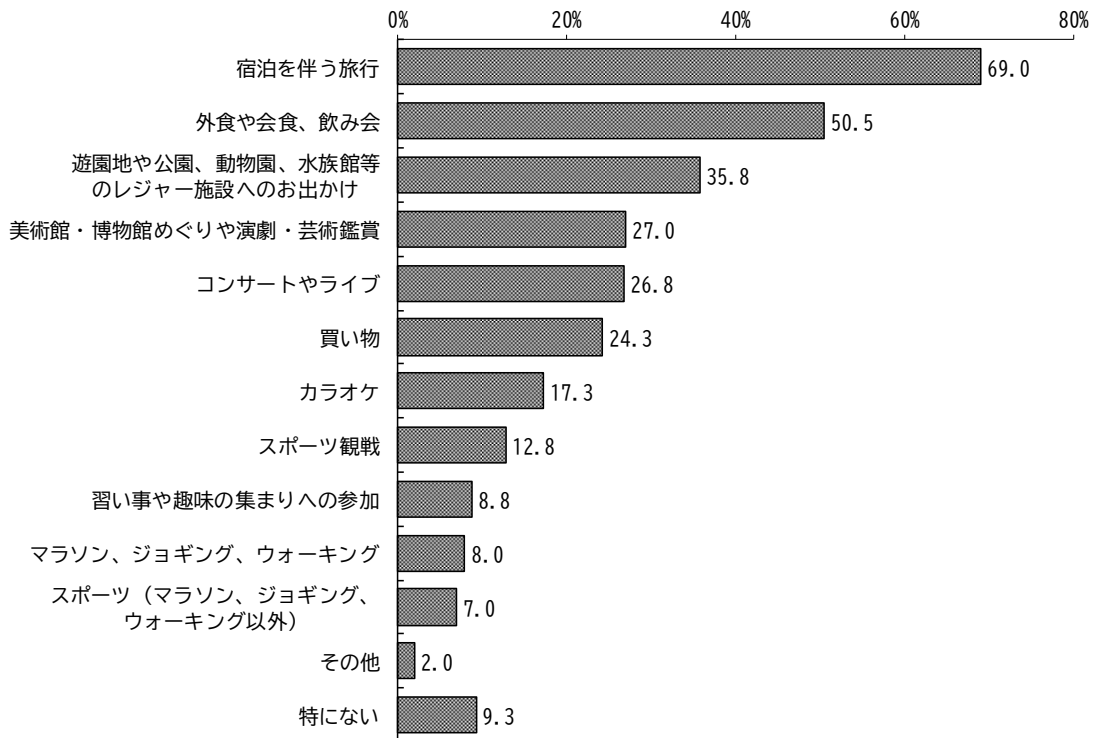
		全体 (実数)	現金	クレジット カード	電子マネー カード(交 通系・流 通系 IC カ ード)	スマート フォンによ る決済(Q R・バー コード)
		(%)				
全 体		400	81.8	68.8	48.3	40.8
性別	男性	232	80.2	71.1	49.6	40.1
	女性	163	84.0	66.9	47.2	41.7
年代	20代	47	76.6	51.1	38.3	36.2
	30代	61	80.3	55.7	44.3	42.6
	40代	94	79.8	68.1	46.8	37.2
	50代	103	81.6	74.8	49.5	47.6
	60代以上	95	87.4	80.0	55.8	37.9
	性別×年代	男性20代	16	75.0	37.5	37.5
男性30代		24	70.8	62.5	50.0	45.8
男性40代		53	84.9	67.9	50.9	32.1
男性50代		68	75.0	73.5	39.7	42.6
男性60代以上		71	85.9	81.7	60.6	40.8
女性20代		28	75.0	64.3	39.3	35.7
女性30代		35	88.6	51.4	42.9	37.1
女性40代		41	73.2	68.3	41.5	43.9
女性50代		35	94.3	77.1	68.6	57.1
女性60代以上		24	91.7	75.0	41.7	29.2
職業	会社員、公務員、団体職員	158	76.6	75.9	51.3	41.8
	派遣、契約社員、パート・アルバイト	84	88.1	58.3	41.7	47.6
	自営業、自由業、その他	27	88.9	63.0	55.6	55.6
	専業主婦・主夫	65	84.6	69.2	38.5	35.4
	学生、無職	66	80.3	66.7	56.1	28.8

(3) 新型コロナウイルスの感染拡大収束後にやりたいこと

Q14 新型コロナウイルスの感染拡大が収束した後、あなたがやりたいことは何ですか。 [複数回答]

「宿泊を伴う旅行」(69.0%)が最も高く、次いで「外食や会食、飲み会」(50.5%)、「遊園地や公園、動物園、水族館等のレジャー施設へのお出かけ」(35.8%)と続いています。

(n=400)



性別に見ると、「買い物」、「遊園地や公園、動物園、水族館等のレジャー施設へのお出かけ」、「美術館・博物館めぐりや演劇・芸術鑑賞」、「コンサートやライブ」、「カラオケ」、「習い事や趣味の集まりへの参加」の6項目では女性の方が高い傾向があります。

年代別に見ると、「買い物」、「遊園地や公園、動物園、水族館等のレジャー施設へのお出かけ」、「コンサートやライブ」、「カラオケ」の4項目は20代で高く、「外食や会食、飲み会」、「宿泊を伴う旅行」、「美術館・博物館めぐりや演劇・芸術鑑賞」の3項目は60代以上で高くなっています。

		全体 (実数)	宿泊を伴う旅行	外食や会食、飲み会	遊園地や公園、動物園、水族館等のレジャー施設へのお出かけ	美術館・博物館めぐりや演劇・芸術鑑賞	コンサートやライブ	買い物	カラオケ	スポーツ観戦	習い事や趣味の集まりへの参加
		(%)									
全体		400	69.0	50.5	35.8	27.0	26.8	24.3	17.3	12.8	8.8
性別	男性	232	66.4	47.8	25.4	22.4	18.1	17.7	11.2	14.2	5.2
	女性	163	73.0	55.2	50.9	34.4	38.7	32.5	24.5	11.0	14.1
年代	20代	47	63.8	46.8	46.8	27.7	38.3	46.8	42.6	8.5	6.4
	30代	61	68.9	52.5	55.7	27.9	29.5	31.1	21.3	14.8	4.9
	40代	94	57.4	44.7	34.0	25.5	28.7	24.5	13.8	18.1	10.6
	50代	103	70.9	51.5	32.0	20.4	22.3	22.3	9.7	11.7	10.7
	60代以上	95	81.1	55.8	23.2	34.7	22.1	10.5	13.7	9.5	8.4
	性別×年代	男性20代	16	56.3	43.8	25.0	25.0	25.0	37.5	25.0	18.8
男性30代		24	54.2	58.3	33.3	20.8	16.7	41.7	16.7	25.0	4.2
男性40代		53	50.9	35.8	32.1	24.5	18.9	18.9	9.4	15.1	5.7
男性50代		68	69.1	45.6	20.6	10.3	16.2	14.7	5.9	11.8	4.4
男性60代以上		71	81.7	56.3	22.5	32.4	18.3	7.0	12.7	11.3	4.2
女性20代		28	67.9	50.0	64.3	32.1	46.4	50.0	50.0	3.6	3.6
女性30代		35	80.0	51.4	71.4	34.3	37.1	22.9	22.9	8.6	5.7
女性40代		41	65.9	56.1	36.6	26.8	41.5	31.7	19.5	22.0	17.1
女性50代		35	74.3	62.9	54.3	40.0	34.3	37.1	17.1	11.4	22.9
女性60代以上		24	79.2	54.2	25.0	41.7	33.3	20.8	16.7	4.2	20.8
職業	会社員、公務員、団体職員	158	72.2	50.0	33.5	19.6	24.1	21.5	13.3	15.8	8.9
	派遣、契約社員、パート・アルバイト	84	67.9	47.6	38.1	29.8	36.9	27.4	26.2	9.5	9.5
	自営業・自由業、その他	27	51.9	44.4	25.9	33.3	22.2	33.3	14.8	14.8	3.7
	専業主婦・主夫	65	78.5	56.9	52.3	36.9	32.3	29.2	15.4	9.2	10.8
	学生、無職	66	60.6	51.5	25.8	28.8	16.7	18.2	18.2	12.1	7.6

		全体 (実数)	マラソン、ジョギング、ウォーキング	スポーツ (マラソン、ジョギング、ウォーキング以外)	その他	特にな
		(%)				
全体		400	8.0	7.0	2.0	9.3
性別	男性	232	9.1	8.6	1.7	11.6
	女性	163	6.7	4.9	2.5	6.1
年代	20代	47	4.3	2.1	0.0	6.4
	30代	61	6.6	6.6	0.0	3.3
	40代	94	10.6	7.4	3.2	11.7
	50代	103	8.7	8.7	1.0	15.5
	60代以上	95	7.4	7.4	4.2	5.3
	性別×年代	男性20代	16	0.0	6.3	0.0
男性30代		24	16.7	12.5	0.0	8.3
男性40代		53	11.3	7.5	1.9	11.3
男性50代		68	7.4	8.8	1.5	20.6
男性60代以上		71	8.5	8.5	2.8	4.2
女性20代		28	7.1	0.0	0.0	3.6
女性30代		35	0.0	2.9	0.0	0.0
女性40代		41	9.8	7.3	4.9	12.2
女性50代		35	11.4	8.6	0.0	5.7
女性60代以上		24	4.2	4.2	8.3	8.3
職業	会社員、公務員、団体職員	158	12.0	10.1	2.5	7.0
	派遣、契約社員、パート・アルバイト	84	4.8	2.4	0.0	8.3
	自営業・自由業、その他	27	3.7	3.7	3.7	22.2
	専業主婦・主夫	65	6.2	6.2	3.1	7.7
	学生、無職	66	6.1	7.6	1.5	12.1

※「その他」の内容 37頁参照

9 通年議会について

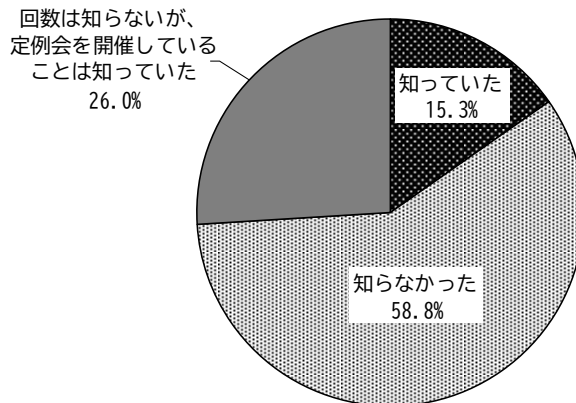
秦野市議会では、政策立案機能の強化や災害時等の迅速な審議体制の確立を目的に、議会が活動できる期間（会期）を通年（1年間）として、閉会期間をなくし、必要に応じて本会議や委員会を開けるようにする制度である「通年議会」の導入を検討しています。その検討に当たり、市議会に対する市民の意識を調査するものです。

(1) 秦野市議会では年間4回定例会を開催していることの認知

Q15 あなたは、現在、秦野市議会では年間4回の定例会を開催していることを知っていましたか。[単一回答]

「知っていた」は15.3%、「回数は知らないが、定例会を開催していることは知っていた」は26.0%でした。一方で、「知らなかった」(58.8%)は約6割となっています。

(n=400)



性別では、大きな傾向差は見られませんでした。

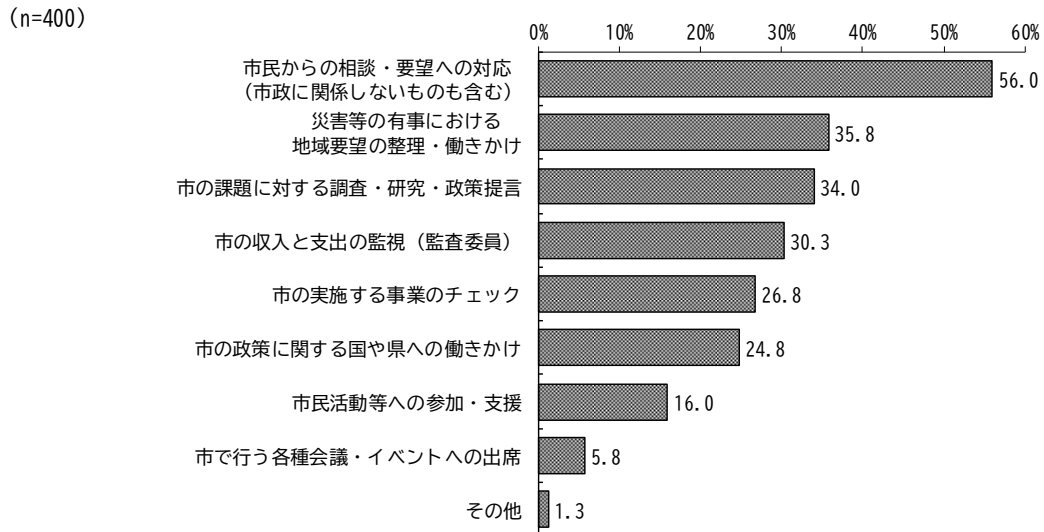
年代別に見ると、「回数は知らないが、定例会を開催していることは知っていた」は60代以上で高く、「知らなかった」は20代・50代で6割台、30代では7割を超えて高くなっています。

		全体 (美数)	知っていた	知らなかった	回数は知らない が、定例会を開催していること は知っていた	
全 体		400	15.3	58.8	26.0	
性別	男性	232	18.1	59.5	22.4	
	女性	163	11.7	57.7	30.7	
年代	20代	47	17.0	66.0	17.0	
	30代	61	6.6	73.8	19.7	
	40代	94	16.0	57.4	26.6	
	50代	103	15.5	64.1	20.4	
	60代以上	95	18.9	41.1	40.0	
	性別×年代	男性20代	16	31.3	62.5	6.3
男性30代		24	4.2	79.2	16.7	
男性40代		53	20.8	60.4	18.9	
男性50代		68	16.2	72.1	11.8	
男性60代以上		71	19.7	39.4	40.8	
女性20代		28	10.7	71.4	17.9	
女性30代		35	8.6	68.6	22.9	
女性40代		41	9.8	53.7	36.6	
女性50代		35	14.3	48.6	37.1	
女性60代以上		24	16.7	45.8	37.5	
職業		会社員、公務員、団体職員	158	21.5	60.1	18.4
		派遣、契約社員、パート・アルバイト	84	14.3	63.1	22.6
	自営業・自由業、その他	27	7.4	66.7	25.9	
	専業主婦・主夫	65	10.8	55.4	33.8	
	学生、無職	66	9.1	50.0	40.9	

(2) 市議会議員に対して閉会日において特に充実してほしい活動

Q16 市議会議員は、前の質問に記載した定例会への参加が義務付けられていますが、定例会のない日（閉会日）においても次のような活動をしています。あなたが、今後特に充実してほしい活動はどれですか。【3つまで】

「市民からの相談・要望への対応（市政に関係しないものも含む）」（56.0%）が最も高く、次いで「災害等の有事における地域要望の整理・働きかけ」（35.8%）、「市の課題に対する調査・研究・政策提言」（34.0%）と続いています。



性別に見ると、「災害等の有事における地域要望の整理・働きかけ」、「市の収入と支出の監視（監査委員）」では女性の方がやや高く、「市の課題に対する調査・研究・政策提言」では男性の方がやや高い傾向があります。

年代別に見ると、「災害等の有事における地域要望の整理・働きかけ」、「市の政策に関する国や県への働きかけ」は20代・30代で高く、「市の課題に対する調査・研究・政策提言」、「市の実施する事業のチェック」は60代以上で高くなっています。

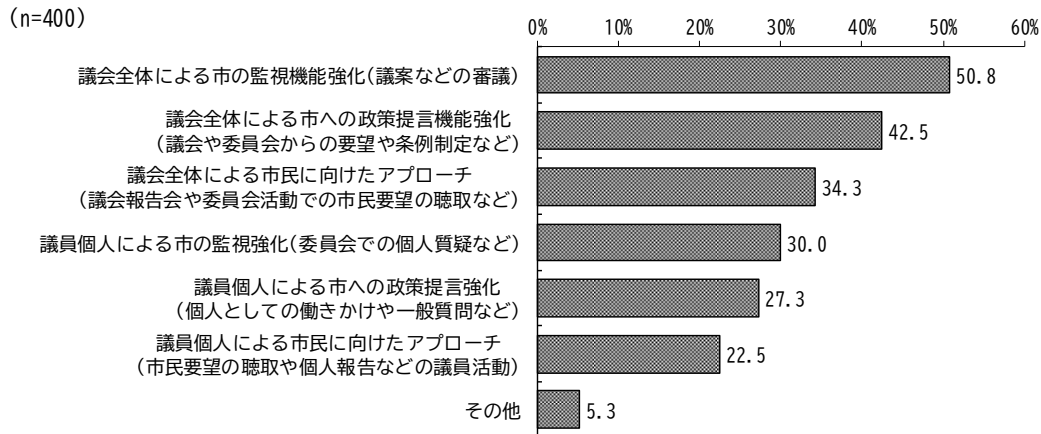
	全体 (実数)	市民からの 相談・ 要望への 対応（市 政に関係 しないも のも含 む）	災害等の 有事にお ける地域 要望の整 理・働き かけ	市の課題 に対する 調査・研 究・政策 提言	市の収入 と支出の 監視（監 査委員）	市の実施 する事業 のチェッ ク	市の政策 に関する 国や県へ の働きか け	市民活動 等への参 加・支援	市で行う 各種会 議・イベ ントへの 出席	その他
全体 (%)	400	56.0	35.8	34.0	30.3	26.8	24.8	16.0	5.8	1.3
性別										
男性	232	56.9	30.2	39.2	26.7	31.5	24.6	16.8	6.0	0.9
女性	163	54.6	44.2	26.4	36.2	20.2	25.2	14.7	5.5	1.8
年代										
20代	47	51.1	42.6	23.4	17.0	14.9	36.2	19.1	8.5	0.0
30代	61	49.2	42.6	27.9	27.9	18.0	31.1	18.0	6.6	1.6
40代	94	55.3	33.0	23.4	34.0	23.4	23.4	17.0	6.4	1.1
50代	103	64.1	38.8	42.7	29.1	25.2	16.5	13.6	3.9	0.0
60代以上	95	54.7	27.4	44.2	35.8	43.2	25.3	14.7	5.3	3.2
性別×年代										
男性20代	16	50.0	43.8	31.3	12.5	18.8	31.3	12.5	6.3	0.0
男性30代	24	50.0	33.3	33.3	16.7	33.3	29.2	25.0	0.0	0.0
男性40代	53	52.8	24.5	26.4	26.4	28.3	30.2	18.9	11.3	0.0
男性50代	68	64.7	36.8	39.7	26.5	23.5	14.7	14.7	5.9	0.0
男性60代以上	71	56.3	23.9	52.1	33.8	43.7	26.8	15.5	4.2	2.8
女性20代	28	50.0	42.9	17.9	21.4	10.7	39.3	21.4	10.7	0.0
女性30代	35	48.6	51.4	22.9	37.1	8.6	34.3	14.3	11.4	2.9
女性40代	41	58.5	43.9	19.5	43.9	17.1	14.6	14.6	0.0	2.4
女性50代	35	62.9	42.9	48.6	34.3	28.6	20.0	11.4	0.0	0.0
女性60代以上	24	50.0	37.5	20.8	41.7	41.7	20.8	12.5	8.3	4.2
職業										
会社員、公務員、団体職員	158	56.3	32.9	36.7	27.8	24.7	24.7	15.2	6.3	0.0
派遣、契約社員、パート・アルバイト	84	54.8	38.1	32.1	33.3	25.0	25.0	19.0	8.3	1.2
自営業・自由業、その他	27	48.1	22.2	18.5	40.7	33.3	14.8	18.5	7.4	3.7
専業主婦・主夫	65	58.5	44.6	24.6	38.5	23.1	21.5	13.8	3.1	1.5
学生、無職	66	57.6	36.4	45.5	19.7	34.8	31.8	15.2	3.0	3.0

※「その他」の内容 38頁参照

(3) 通年議会の導入に当たり、今後の市議会に期待すること

Q17 「通年議会」の導入に当たって、あなたが今後の市議会に期待することはなんですか。
[3つまで]

「議会全体による市の監視機能強化(議案などの審議)」(50.8%)が最も高く、次いで「議会全体による市への政策提言機能強化(議会や委員会からの要望や条例制定など)」(42.5%)、「議会全体による市民に向けたアプローチ(議会報告会や委員会活動での市民要望の聴取など)」(34.3%)と続いています。



性別では、大きな傾向差は見られませんでした。

年代別に見ると、「議会全体による市の監視機能強化(議案などの審議)」は40代以上では5割を超えて高くなっていますが、20代では3割台と低くなっています。また、「議員個人による市の監視強化(委員会での個人質疑など)」は20代で4割と高くなっています。

	全体 (実数)	期待すること (%)								
		議会全体による市の監視機能強化(議案などの審議)	議会全体による市への政策提言機能強化(議会や委員会からの要望や条例制定など)	議会全体による市民に向けたアプローチ(議会報告会や委員会活動での市民要望の聴取など)	議員個人による市の監視強化(委員会での個人質疑など)	議員個人による市への政策提言強化(個人としての働きかけや一般質問など)	議員個人による市民に向けたアプローチ(市民要望の聴取や個人報告などの議員活動)	その他		
全体	400	50.8	42.5	34.3	30.0	27.3	22.5	5.3		
性別	男性	232	53.0	45.3	32.8	30.2	29.3	25.4	3.0	
	女性	163	47.9	39.3	37.4	28.2	24.5	19.0	8.0	
	年代	20代	47	34.0	29.8	34.0	40.4	29.8	29.8	0.0
		30代	61	45.9	44.3	26.2	27.9	36.1	16.4	8.2
		40代	94	51.1	33.0	29.8	26.6	28.7	28.7	3.2
		50代	103	58.3	48.5	38.8	32.0	21.4	15.5	4.9
60代以上		95	53.7	50.5	38.9	27.4	25.3	24.2	8.4	
性別×年代	男性20代	16	37.5	31.3	31.3	37.5	37.5	31.3	0.0	
	男性30代	24	29.2	45.8	12.5	37.5	54.2	29.2	4.2	
	男性40代	53	54.7	37.7	22.6	26.4	32.1	39.6	0.0	
	男性50代	68	57.4	45.6	36.8	30.9	27.9	13.2	2.9	
	男性60代以上	71	59.2	53.5	43.7	28.2	18.3	23.9	5.6	
	女性20代	28	28.6	28.6	39.3	35.7	25.0	32.1	0.0	
	女性30代	35	60.0	45.7	37.1	20.0	25.7	8.6	8.6	
	女性40代	41	46.3	26.8	39.0	26.8	24.4	14.6	7.3	
	女性50代	35	60.0	54.3	42.9	34.3	8.6	20.0	8.6	
	女性60代以上	24	37.5	41.7	25.0	25.0	45.8	25.0	16.7	
職業	会社員、公務員、団体職員	158	51.9	41.8	35.4	28.5	25.9	23.4	0.6	
	派遣、契約社員、パート・アルバイト	84	50.0	45.2	38.1	29.8	28.6	17.9	8.3	
	自営業・自由業、その他	27	44.4	37.0	33.3	33.3	18.5	18.5	3.7	
	専業主婦・主夫	65	52.3	36.9	27.7	29.2	30.8	18.5	12.3	
	学生、無職	66	50.0	48.5	33.3	33.3	28.8	31.8	6.1	

※「その他」の内容 38頁参照

10 住宅用火災警報器の設置状況について

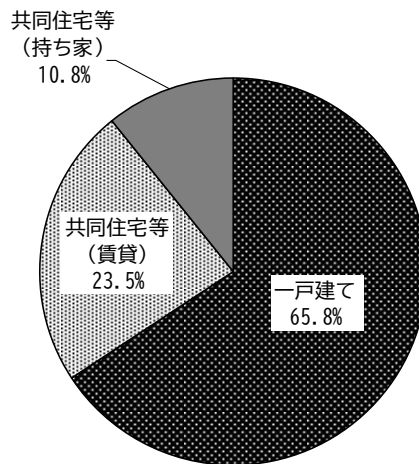
住宅火災から命を守るために効果的である住宅用火災警報器の普及拡大に当たり、設置状況を調査するものです。

(1) 住居形態

Q18 あなたがお住まいの住宅は、次のうちどれに当てはまりますか。〔単一回答〕

「一戸建て」(65.8%)が最も高く、「共同住宅等(賃貸)」(23.5%)、「共同住宅等(持ち家)」(10.8%)と続いています。

(n=400)



年代別に見ると、「一戸建て」は60代以上では8割と高く、「共同住宅(賃貸)」は20代・30代で高くなっています。

居住地区別に見ると、「一戸建て」は西地区で高く、鶴巻地区で低い傾向があります。「共同住宅(持ち家)」は鶴巻地区で高い傾向があります。

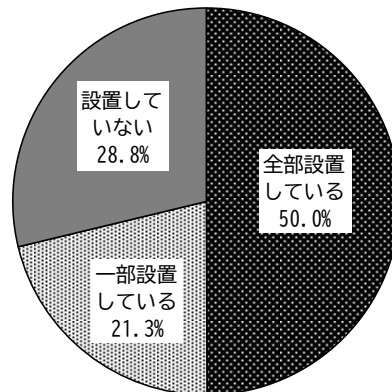
		(%)	全体 (実数)	一戸建て	共同住宅等 (賃貸)	共同住宅等 (持ち家)	
全 体			400	65.8	23.5	10.8	
性別	男性		232	69.0	21.1	9.9	
	女性		163	62.0	26.4	11.7	
年代	20代		47	42.6	48.9	8.5	
	30代		61	54.1	34.4	11.5	
	40代		94	75.5	22.3	2.1	
	50代		103	61.2	25.2	13.6	
	60代以上		95	80.0	3.2	16.8	
	性別×年代	男性20代		16	43.8	50.0	6.3
男性30代			24	62.5	33.3	4.2	
男性40代			53	75.5	24.5	0.0	
男性50代			68	61.8	26.5	11.8	
男性60代以上			71	78.9	2.8	18.3	
女性20代			28	39.3	50.0	10.7	
女性30代			35	51.4	34.3	14.3	
女性40代			41	75.6	19.5	4.9	
女性50代			35	60.0	22.9	17.1	
女性60代以上			24	83.3	4.2	12.5	
居住地区		本町地区		42	57.1	23.8	19.0
		南地区		83	66.3	22.9	10.8
	東地区		36	72.2	16.7	11.1	
	北地区		25	84.0	12.0	4.0	
	西地区		97	79.4	19.6	1.0	
	上地区		4	75.0	0.0	25.0	
	大根地区		69	63.8	33.3	2.9	
	鶴巻地区		44	29.5	31.8	38.6	

(2) 住宅用火災警報器の設置状況

Q19 あなたがお住まいの住宅では、条例により住宅用火災警報器の設置が義務付けられている住宅の部分全てに住宅用火災警報器が設置されていますか。[単一回答]

「全部設置している」が50.0%と最も高く、「一部設置している」は21.3%、「設置していない」は28.8%となっています。

(n=400)



居住地区別では、「全部設置している」は鶴巻地区で高く、「設置していない」は東地区で高い傾向があります。

Q18の住居形態別では、「全部設置している」は「共同住宅等(持ち家)」で7割を超えて高く、「共同住宅等(賃貸)」でも約6割となっています。また、「設置していない」は「一戸建て」で高い傾向があります。

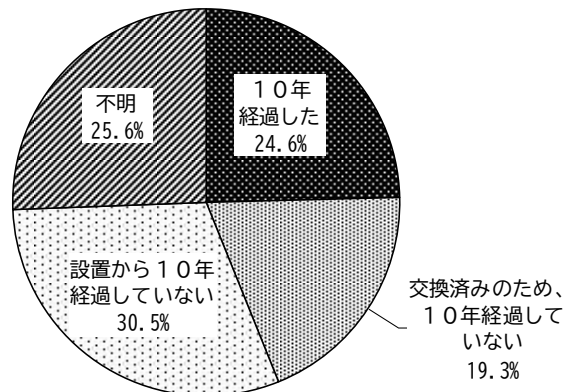
	全体 (%)	全体 (実数)	全部設置している	一部設置している	設置していない
全 体		400	50.0	21.3	28.8
性別					
男性		232	45.7	24.6	29.7
女性		163	56.4	17.2	26.4
年代					
20代		47	51.1	23.4	25.5
30代		61	47.5	19.7	32.8
40代		94	48.9	26.6	24.5
50代		103	51.5	19.4	29.1
60代以上		95	50.5	17.9	31.6
性別×年代					
男性20代		16	50.0	31.3	18.8
男性30代		24	37.5	29.2	33.3
男性40代		53	35.8	32.1	32.1
男性50代		68	51.5	20.6	27.9
男性60代以上		71	49.3	19.7	31.0
女性20代		28	50.0	21.4	28.6
女性30代		35	57.1	14.3	28.6
女性40代		41	65.9	19.5	14.6
女性50代		35	51.4	17.1	31.4
女性60代以上		24	54.2	12.5	33.3
居住地区					
本町地区		42	52.4	26.2	21.4
南地区		83	49.4	26.5	24.1
東地区		36	47.2	13.9	38.9
北地区		25	56.0	12.0	32.0
西地区		97	45.4	20.6	34.0
上地区		4	0.0	25.0	75.0
大根地区		69	42.0	23.2	34.8
鶴巻地区		44	75.0	15.9	9.1
住居形態					
一戸建て		263	42.6	21.3	36.1
共同住宅等(賃貸)		94	60.6	23.4	16.0
共同住宅等(持ち家)		43	72.1	16.3	11.6

(3) 住宅用火災警報器の設置期間

Q20 前の質問で、「全部設置している」または「一部設置している」を選択した方にお聞きします。設置されている住宅用火災警報器は10年を経過していますか。[単一回答]

「設置から10年経過していない」(30.5%)が最も高く、次いで「10年経過した」(24.6%)、「交換済みのため、10年経過していない」(19.3%)と続いています。また、「不明」は25.6%となっています。

(n=285)



居住地区別では、「設置から10年経過していない」は西地区で高く、鶴巻地区で低い傾向があります。

Q18の住居形態別では、「一戸建て」は「10年経過した」と「設置から10年経過していない」でやや高い傾向があります。「共同住宅等(持ち家)」は「交換済みのため、10年経過していない」が高く、「共同住宅等(賃貸)」は「不明」が5割を超えて高くなっています。

		全体 (実数)	10年経過した	交換済みのため、10年経過していない	設置から10年経過していない	不明
		(%)				
全 体		285	24.6	19.3	30.5	25.6
性別	男性	163	27.6	23.3	27.6	21.5
	女性	120	20.8	13.3	34.2	31.7
年代	20代	35	5.7	31.4	20.0	42.9
	30代	41	9.8	9.8	43.9	36.6
	40代	71	19.7	16.9	38.0	25.4
	50代	73	38.4	17.8	20.5	23.3
	60代以上	65	33.8	23.1	30.8	12.3
	性別×年代	男性20代	13	7.7	38.5	7.7
男性30代		16	6.3	18.8	43.8	31.3
男性40代		36	19.4	19.4	36.1	25.0
男性50代		49	34.7	20.4	24.5	20.4
男性60代以上		49	38.8	26.5	24.5	10.2
女性20代		20	5.0	25.0	25.0	45.0
女性30代		25	12.0	4.0	44.0	40.0
女性40代		35	20.0	14.3	40.0	25.7
女性50代		24	45.8	12.5	12.5	29.2
女性60代以上		16	18.8	12.5	50.0	18.8
居住地区	本町地区	33	27.3	21.2	21.2	30.3
	南地区	63	27.0	17.5	33.3	22.2
	東地区	22	9.1	13.6	31.8	45.5
	北地区	17	23.5	35.3	29.4	11.8
	西地区	64	25.0	14.1	42.2	18.8
	上地区	1	0.0	0.0	0.0	100.0
	大根地区	45	26.7	20.0	31.1	22.2
	鶴巻地区	40	25.0	25.0	15.0	35.0
住居形態	一戸建て	168	32.1	17.3	38.1	12.5
	共同住宅等(賃貸)	79	8.9	16.5	22.8	51.9
	共同住宅等(持ち家)	38	23.7	34.2	13.2	28.9

■令和3年度秦野市 Web アンケート調査（第1回目） 「その他」の記入内容

Q4. 犯罪被害にあわれた方の支援に関して、あなたが必要だと思うものは何ですか。（3つまで）
「8. その他」の記入内容 ・わからない
Q5. あなたは、犯罪被害にあわれた方の支援の充実を図るうえで、市はどのような取組みに力を入れていくべきだと考えますか。（3つまで）
「7. その他」の記入内容 ・そもそも犯罪がなくなるように治安維持 ・治安を良くする ・被害者本人が申し出しなくても自動的に確実に支援団体やサービスに繋がる仕組み、警察とか行政、NGO とかの縦横の連携 ・犯罪がある際に、法的に中止させる手段を設ければ、良いと思います。 ・シェルターの充実 ・わからない
Q7. 日本における様々な人権問題や差別について、あなたが関心のあるものはどれですか。（いくつでも）
「18. その他」の記入内容 ・ウイグル、チベット、南モンゴル、香港の人権侵害 ・障害者のやり過ぎと取れる権利の主張は健常者への人権侵害と思う ・知的障害を持つ人は軽度でも、親は療育手帳取得の診断を受けさせる事を義務にする。 ・コロナ ・職場等 ・男性の人権(この選択肢がない時点で男性差別)
Q8. あなたは、ゼロカーボンシティの達成には、何が重要だと考えますか。（2つまで）
「5. その他」の記入内容 ・不要 ・必要ない ・子供のうちから教育すること ・脱炭素 分かりやすい日本語で意識する必要あり ・大きなリーダーシップ（政府、自治体） ・渋滞対策、自動車利用を控える等
Q11. 前の質問で、「過去に訪れたことがあるが、現在は訪れない」または「訪れたことがない」を選択した方にお聞きします。その理由は何ですか。（3つまで）
「7. その他」の記入内容 ・存在を知らなかった ・知らない ・知らなかった ・何があるか知らない ・何があるのか分からないので ・コロナで外にでない ・外出自粛のため ・魅力を感じない ・魅力を感じない ・自分が、障がい者に、なったから。 ・行ったことはない ・駐車場
Q14. 新型コロナウイルスの感染拡大が収束した後、あなたがやりたいことは何ですか。（いくつでも）
「12. その他」の記入内容 ・海外旅行 ・海外旅行 ・遠方在住の両親に会う ・美容院、サロン ・延期していた法事 ・友人との交流

- ・キャンプやバーベキュー
- ・故郷に帰省

Q16. 市議会議員は、前の質問に記載した定例会への参加が義務付けられていますが、定例会のない日(閉会日)においても次のような活動をしています。あなたが、今後特に充実してほしい活動はどれですか。(3つまで)

- 「9. その他」の記入内容
- ・目に見える活動と実績
 - ・街の清掃、見回り
 - ・管理教育をなくしてほしい。私も理不尽な管理教育で苦しんだ。
 - ・議会での議論の活発化とレベルアップ
 - ・特にない。市議会議員そのものが不要。

Q17. 「通年議会」の導入に当たって、あなたが今後の市議会に期待することはなんですか。(3つまで)

- 「7. その他」の記入内容
- ・特にない
 - ・特にない
 - ・特にない
 - ・特にない
 - ・とくにない
 - ・なし
 - ・なし
 - ・ない。期待するとがっかりするから
 - ・期待していない
 - ・期待することはない。
 - ・特に期待することはない。
 - ・通年にする意義がわからないのでない
 - ・通年にする意味とは？
 - ・多すぎる市役所職員の削減
 - ・議員の定数の削減
 - ・議会で寝たり関係ない本読んだり動画見無駄な議員を減らす事。
 - ・今の仕事のままなら、定員減、報酬減を望む。
 - ・第三者機関による監査
 - ・税金がムダに使われないようなチェック
 - ・管理教育に肯定的な議員は辞職してほしい。二度と立候補しないでほしい。
 - ・よく分からない